

# 2024年度 大学院入学者選抜要項

博士前期課程・修士課程	
文学研究科	
日本語日本文学専攻	博士前期課程
英語英米文学専攻	博士前期課程
社会文化学専攻	修士課程
人間生活学研究科	
人間発達学専攻	修士課程
人間発達学コース	
臨床心理学コース	
食品栄養学専攻	修士課程
人間生活学専攻	修士課程
博士後期課程	
文学研究科	
日本語日本文学専攻	博士後期課程
英語英米文学専攻	博士後期課程
人間生活学研究科	
人間複合科学専攻	博士後期課程

# 目 次

災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者への対応

試験当日に災害や公共交通機関の遅れ等が発生した場合への対応

個人情報に関する取扱について

## 大学院の紹介

文学研究科の概要と特色／ポリシー／カリキュラム	1
日本語日本文学専攻（博士前期課程）	3
日本語日本文学専攻（博士後期課程）	5
英語英米文学専攻（博士前期課程）	7
英語英米文学専攻（博士後期課程）	9
社会文化学専攻（修士課程）	11
人間生活学研究科の概要と特色／ポリシー／カリキュラム	13
人間発達学専攻（修士課程）人間発達学コース	15
人間発達学専攻（修士課程）臨床心理学コース	17
食品栄養学専攻（修士課程）	19
人間生活学専攻（修士課程）	21
人間複合科学専攻（博士後期課程）	23

博士前期課程・修士課程入学者選抜要項…………… 右ページ参照

博士後期課程入学者選抜要項…………… 右ページ参照

奨学金制度…………… 44

## Web出願

事前の準備	45
出願登録	46
入学検定料の支払い	50
出願書類の郵送	51
受験票の印刷	51
Web出願 Q&A	52

ノートルダム清心女子大学は、本学の教育理念の実現に向け、2023年4月からトランスジェンダー女性（戸籍上は男性であっても性自認が女性である人）を受け入れています。出願を希望する方は、出願登録期間の1か月前までに入試広報部に連絡してください。詳しくは、本学ウェブサイトに掲載する「トランスジェンダー学生の実入りに関するガイドライン」をご覧ください。

## 博士前期課程・修士課程 入学者選抜要項

募集人員	25
一般選抜	25
出願資格	25
出願書類, 試験科目	26
社会人特別選抜	28
出願資格, 出願書類	28
試験科目	29
外国人留学生特別選抜	30
各選抜共通事項	30
研究テーマ・内容等に関する事前相談, 出願登録期間, 入学検定料	
出願書類郵送期限, 出願方法	30
選考方法, 試験日, 試験場, 試験当日の注意事項	31
判定通知, 入学手続	32
学費等納入金, 学位の授与	33
免許・資格, 長期履修制度	34

## 博士後期課程 入学者選抜要項

募集人員	35
一般選抜	35
出願資格	35
出願書類, 試験科目	36
社会人特別選抜	37
出願資格, 出願書類, 試験科目	37
外国人留学生特別選抜	38
各選抜共通事項	38
入学前の指導, 出願登録期間, 入学検定料, 出願書類郵送期限, 出願方法	38
選考方法, 試験日, 試験場, 試験当日の注意事項	39
判定通知, 入学手続	40
学費等納入金, 学位の授与	41
長期履修制度	42

## 災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者への対応

災害に遭われた被災地の皆様には、心からお見舞い申し上げます。

本学では、災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者に対し、経済的支援を図るため、申し出により入学検定料等に対する特別措置を講じています。

該当する方で、特別措置を希望する場合は、所定の手続が必要となりますので、入試広報部までお申し出、ご相談ください。

### 1 対象者

災害救助法適用地域で被災された世帯の受験者で、次に該当する方を対象とします。

- (1) 災害によりご父母のいずれかが亡くなられた方
- (2) 家計支持者がご父母以外の場合、災害により家計支持者が亡くなられた方
- (3) 災害によりご父母のいずれかが負傷され、入院し、長期加療が必要な方
- (4) 家計支持者がご父母以外の場合、災害により家計支持者が負傷され、入院し、長期加療が必要な方
- (5) 災害により家計支持者の居住する家屋が消失した場合、または、損壊により引き続き同家屋に居住することが困難と認められる方
- (6) その他災害により学費支弁が著しく困難となったと認められる方

### 2 特別措置

- 入学者選抜の志願者

災害救助法適用日から1年以内に実施の入学者選抜の入学検定料を全額免除します。

なお、すでに入学検定料を納入されている場合には返還します。

### 3 必要書類

- (1) 被災者特別措置申請書（本学所定用紙）
- (2) 被災状況証明書等（「死亡診断書」「診断書」「罹災証明書」等）
- (3) 入学検定料返還金振込先金融機関届（既に入学検定料を納入済みの方）（本学所定用紙）

### 4 申請期限および審査結果通知等入学者選抜の出願登録期間

- (1) 原則として、当該入学者選抜の出願登録期間開始日までに、必要書類をノートルダム清心女子大学入試広報部まで提出してください。申請書類に基づき審査を行い、結果を申請書記載の本人連絡先住所に文書で送付します。（特別措置の適用は、審査により決定しますので、被災の程度によっては適用を受けられないことがあります。）
- (2) 上記申請期限以降でも被災者特別措置申請の受付を行います。また、すでに入学検定料等を納められた場合でも返還に応じます。ただし、当該入学者選抜の出願期間・手続期間の延長は行いません。

## 試験当日に災害や公共交通機関の遅れ等が発生した場合への対応

- 1 原則として試験を実施し、必要な場合には試験時間の繰り下げをおこないます。警報等が発令された場合も、原則として試験を実施します。
- 2 万一、災害や公共交通機関の不通のために不可抗力によって受験できない方がいる場合は、代替措置をとることがあります。
- 3 試験当日に交通遅延等が発生した場合、判定通知日が延期される場合があります。
- 4 上記の2、3による例外的措置をとる場合は、本学ホームページでお知らせします。

# 個人情報に関する取扱について

本学では、志願者・合格者・入学者からの提出書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」の趣旨に沿って厳格に取り扱います。また、「ノートルダム清心女子大学個人情報の保護に関する規則」に基づき、皆さんの個人情報の保護に万全を期しますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

## I 利用目的について

### 1 出願時に提出された書類等について

入学者選抜の基礎資料、入学制度と広報活動の評価・分析及び入学後の学籍管理・教育指導・奨学金等学生生活支援等の基礎データとするため

### 2 入学時及び入学後提出された書類等について

- 卒業証明書等  
入学資格確認のため
- 住民票記載事項証明書  
学籍簿作成及び各種証明書等交付のための基礎資料とするため
- 氏名カナ表記等登録票  
学籍簿、履修者名簿、英文証明書等の作成のための基礎資料とするため
- 学生証用写真貼付カード  
学生証発行データ及び学籍管理システムの基礎データとするため
- 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険関係書類  
保険加入手続き及び加入状況管理のため

### 3 入学時に提出される書類等について

- 誓約書  
本学学生としての意思確認をするため
- 学生カード  
学生指導等の資料及び入学後の本人・保証人等への緊急連絡のため
- 学生名簿登録票  
学生名簿作成及び学籍管理システムへのデータ登録、本人・保証人等への連絡（郵便物含む）のため
- 健康調査票  
健康管理の基礎資料とするため

### 4 その他

- 奨学金関係書類  
各種奨学金申請・給付・支給等の業務を行うため

## II 第三者提供等について

- 1 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険加入申込情報は、公益財団法人日本国際教育支援協会等に提供します。
- 2 健康管理の基礎資料については、緊急時、必要に応じて医療機関に提供することがあります。
- 3 ノートルダム清心女子大学同窓会に、講座の案内や終身会費納入案内などのために住所、氏名を提供します。

提出していただいた個人情報は、業務の一部（学生証発行等）を委託する場合に、委託先事業者へ提供することがあります。この場合、本学及び事業者は法令及び契約に則り、適切に個人情報を取り扱うものとします。

## III 個人情報の取扱等について

個人情報の取扱等については、学務部にお問い合わせください。  
学務部 TEL 086-252-5039（直通）

# 大学院の紹介 — 文学研究科 —

日本語日本文学専攻（博士前期課程）

日本語日本文学専攻（博士後期課程）

英語英米文学専攻（博士前期課程）

英語英米文学専攻（博士後期課程）

社会文化学専攻（修士課程）

## 概要と特色

文学研究科は日本語日本文学専攻（博士課程）、英語英米文学専攻（博士課程）および社会文化学専攻（修士課程）の3専攻からなる。日本語日本文学専攻と英語英米文学専攻の博士課程はさらに、修士課程に相当する前期課程と、そのうえに立って博士学位の取得をめざす後期課程に分かれる。博士前期（修士）課程では、学士課程において展開されているリベラル・アーツ教育の成果を引き継ぎ、大学院教育においてもその深化を図るための教育を行う。

50年近い学部教育の実績のうえに、本学は1995年4月、文学研究科・人間生活学研究科の2研究科からなる大学院を開設した。この折に文学研究科では修士課程の日本語日本文学と英語英米文学の2専攻を開き、2年後の1997年4月からは日本語日本文学専攻に博士後期課程を設置し、同修士課程を博士前期課程に改めた。その後2007年4月、社会文化学専攻（修士課程）を設置した。さらに2023年4月からは英語英米文学専攻に博士後期課程を設置し、同修士課程を博士前期課程に改めた。

日本語日本文学専攻（博士前期課程）と英語英米文学専攻（博士前期課程）に共通する特色は、ともに、文学・語学・文化の研究分野を立て、さらにそれぞれに関係の深い思想領域の科目を配するところにある。すなわち日本語日本文学専攻では、古代中世文学・近世近代文学・日本語学の3研究分野に加え、日本思想史・日本民俗学・中国思想史からなる専門関連科目を開講する。英語英米文学専攻では、英米文学・英語学言語学・国際コミュニケーション・実践翻訳の4研究分野に加え、聖書学・キリスト教思想を専門関連科目とする。いずれも言語、コミュニケーション、文化、文学が密接なかかわりを持つと同様、思想や歴史、宗教もまた言語・文学・文化と密接不可分の関係にあることに配慮したものである。また、両専攻とも、専門関連科目内に中等教育の教科教育（国語・英語）に関する特論科目を置き、教育職員専修免許状取得課程の充実を図っている。

社会文化学専攻では、文学部現代社会学科の2コース制との対応を視野に入れて、社会学および歴史学の2研究分野を立てる。これにくわえて、社会言語学・社会文学・文化人類学・社会倫理学・社会哲学・社会福祉学の各特論を専門関連科目として配し、2研究分野の教育・研究内容がより豊かになるように配慮している。さらに、他の2専攻同様に、社会・地理歴史科教育の特論を設けて、専修免許状の取得に資することとしている。

日本語日本文学専攻（博士後期課程）では、日本文学・日本語学の2研究分野構成とし、関連分野に日本思想史・日本民俗学・和漢比較文学・キリスト教思想史の各特殊講義を配している。英語英米文学専攻（博士後期課程）では、英米文学・英語学言語学・国際コミュニケーションの3研究分野構成とし、関連分野にヨーロッパ社会史・宗教社会学・外国語（英語）教育・キャリアデザインの科目を配置している。

いずれの専攻も、それぞれの専門領域に必要な高度の研究能力を確実に身につけるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問う柔軟な知性の育成を志しており、研究職・教育職はもとより、多様な専門領域において幅広く貢献する高度専門職業人の育成をも目指すものである。

## 1 ディプロマ・ポリシー

博士後期課程においては、各研究分野に配置された科目について所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すれば博士（文学）の学位が授与される。

その際、次のような能力を身につけていることが求められる。

- (1) 社会的・国際的に通用する俯瞰的な視野に立った学識と各専攻分野における優れた研究能力
- (2) 論理的な思考力を持ち、各専攻分野にかかわる諸問題を深く追究することができる洞察力および問題解決能力
- (3) 高度な専門性を要する職業等に必要な能力

日本語日本文学専攻（博士前期課程）、英語英米文学専攻（博士前期課程）、社会文化学専攻（修士課程）においては、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（文学）の学位が授与される。

その際、次のような能力と資質を身につけていることが求められる。

- (1) 多角的な視野に立った学識と各専攻分野における優れた研究能力
- (2) 論理的な思考力を持ち、各専攻分野にかかわる諸問題を深く追究することができる洞察力および高度な汎用的能力
- (3) 実社会の各分野で指導的役割を果たすために必要なコミュニケーション能力と高い倫理性

## 2 カリキュラム・ポリシー

本研究科のカリキュラムは、リベラル・アーツ教育を基盤に置き、各専攻の教育目標を達成するために必要な研究分野を配置したものとなっている。

博士後期課程において、日本語日本文学専攻（博士後期課程）は2研究分野を根幹とし、これに関連分野の科目を配することによって、専門的な研究能力の獲得および多角的な視点と方法論を学ぶことができるようになっている。英語英米文学専攻（博士後期課程）は3研究分野に関連分野を配し、3研究分野には高度かつ広い学識を獲得できる「特殊講義」と独創的研究力を養い博士論文に関する研究課題を探究する「課題研究」の科目を配し、高度かつ広範な専門能力と汎用的能力を学ぶカリキュラムを設定している。博士課程での学びを通して、研究者、高度専門職業人としての問題解決能力を身につけることができる。

博士前期課程及び修士課程におけるカリキュラムは、学士課程段階の教育との有機的な接続を図り、日本語日本文学専攻（博士前期課程）は3研究分野、英語英米文学専攻（博士前期課程）は4研究分野、社会文化学専攻（修士課程）は2研究分野をもってそれぞれ構成する。さらに、いずれの専攻においても、専門関連科目を配し、高度な専門性と多角的な視野および体系的な知識の醸成に寄与しうる構成をとっている。

## 3 アドミッション・ポリシー

本研究科では次のような人材を求めている。

本研究科におけるリベラル・アーツ教育の理念に共鳴し、各研究分野に対する強い探究心をもつ者。

各自の専門研究の深化を図るとともに、多角的な視野に立って広く深く考察する洞察力、問題解決能力を獲得することに意欲的な者。

# 文学研究科

## 日本語日本文学専攻（博士前期課程）

### 概要と特色

本専攻は、古代中世文学・近世近代文学および日本語学の3研究分野を区分し、それぞれの研究を進めるとともに、専門関連科目として立てた日本思想史・日本民俗学・中国思想史・国語科教育の各特論をも含め、これらを有機的に関連させて、新しい研究の視角を切り開こうとするところにねらいがある。

本学は、黒川文庫・正宗敦夫文庫などの多くの貴重図書を蔵し、開学以来、とりわけ古典研究に多くの業績をあげてきた。さらにその後、辞書学・方言学など日本語学関係図書を中心とする佐藤茂文庫を得ることにより日本語学研究にも新領域を開く土台が築かれた。

#### 1 ディプロマ・ポリシー

本専攻に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 古代中世文学・近世近代文学・日本語学ならびに関連分野についての体系的・横断的・総合的な知識。
- (2) これらの3研究分野の中で特に深く研究する分野での高度専門職業人としての問題解決能力。

#### 2 カリキュラム・ポリシー

古代中世文学分野では、上代より中世にいたる文学作品および作者を研究対象範囲として物語・日記・和歌・歌論などをとりあげ、この時代の文学の展開の諸相を究明する。

近世近代文学分野では、近世より現代にいたる文学作品と作者を研究対象範囲として小説および文学理論をとりあげ、この時代の文学を多角的に究明する。

日本語学分野では、主として現代語を研究対象範囲として日本人の言語行動および日本語表現について考察するとともに、通時的視点も含め、日本語のありようを多角的に究明する。

専門関連科目では、日本思想史・日本民俗学・中国思想史・国語科教育の各特論を開講し、思想や教育に関する研究も、言語・文学に関する研究と密接な関係にあることに配慮している。

これら3分野のいずれかに研究の主体を置いた研究課題を策定し、その課題に関係する科目を選択履修することで、研究課題に応じた着実な方法論による専門的・体系的な知識によるアプローチを可能にする。

#### 3 アドミッション・ポリシー

古代中世文学分野、近世近代文学分野、日本語学分野に関する専門的な知識を修得することで研究遂行能力を養い、自ら定めた独創性に富む研究課題に対し適切な方法論により取り組むことで新しい知見を得ようとする意欲的な学生を求める。



# 日本語日本文学専攻博士前期課程カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要
			I期	II期	I	II		
古代 中世 文学	古代文学特論 I	2	2		I	II	教授 東 城 敏 毅	※ ※
	古代文学特論 II	2		2	I	II	教授 東 城 敏 毅	
	古代文学特論 III	2	2		I	II	教授 中 井 賢 一	
	古代文学特論 IV	2		2	I	II	教授 中 井 賢 一	
	中世文学特論 I	2			I	II		
	中世文学特論 II	2			I	II		
	中世文学特論 III	2	2		I	II	講師 江 草 弥由起	
	中世文学特論 IV	2		2	I	II	講師 江 草 弥由起	
	古代中世文学演習 I	2	2		I	II	教授 東 城 敏 毅	
	古代中世文学演習 I	2	2		I	II	教授 中 井 賢 一	
古代中世文学演習 II	2		2	I	II	教授 東 城 敏 毅		
古代中世文学演習 II	2		2	I	II	教授 中 井 賢 一		
近 世 近 代 文 学	近世文学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 山 本 秀 樹	※ ※
	近世文学特論 II	2		2	I	II	非常勤講師 山 本 秀 樹	
	近世文学特論 III	2	2		I	II		
	近世文学特論 IV	2		2	I	II		
	近代文学特論 I	2	2		I	II	教授 山 根 知 子	
	近代文学特論 II	2		2	I	II	教授 山 根 知 子	
	近代文学特論 III	2	2		I	II	教授 長 原 し の ぶ	
	近代文学特論 IV	2		2	I	II	教授 長 原 し の ぶ	
	近代文学特論 V	2	2		I	II	教授 山 根 道 公	
	近代文学特論 VI	2		2	I	II	教授 山 根 道 公	
	近世近代文学演習 I	2	2		I	II	教授 山 根 知 子	
	近世近代文学演習 I	2	2		I	II	教授 山 根 道 公	
	近世近代文学演習 I	2	2		I	II	教授 長 原 し の ぶ	
	近世近代文学演習 II	2		2	I	II	教授 山 根 知 子	
近世近代文学演習 II	2	2		I	II	教授 山 根 道 公		
近世近代文学演習 II	2		2	I	II	教授 長 原 し の ぶ		
日 本 語 学	日本語学特論 I	2			I	II		※ 集 ※ ※
	日本語学特論 II	2			I	II	非常勤講師 江 口 泰 生	
	日本語学特論 III	2	2		I	II	准教授 星 野 佳 之	
	日本語学特論 IV	2		2	I	II	准教授 星 野 佳 之	
	日本語学特論 V	2	2		I	II	教授 尾 崎 喜 光	
	日本語学特論 VI	2		2	I	II	教授 尾 崎 喜 光	
	日本語表現特論 I	2			I	II		
	日本語表現特論 II	2			I	II		
	日本語学演習 I	2	2		I	II	教授 尾 崎 喜 光	
	日本語学演習 II	2		2	I	II	教授 尾 崎 喜 光	
専 門 関 連 科 目	日本思想史特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 本 村 昌 文	
	日本思想史特論 II	2		2	I	II	非常勤講師 本 村 昌 文	
	日本民族学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 小 嶋 博 博	
	日本民族学特論 II	2		2	I	II	非常勤講師 小 嶋 博 博	
	中国思想史特論 I	2	2		I	II	教授 鈴 木 真 洋	
	中国思想史特論 II	2		2	I	II	教授 鈴 木 真 洋	
	国語科教育特論 I	2	2		I	II	教授 伊 木 洋	
	国語科教育特論 II	2		2	I	II	教授 伊 木 洋	

(注) 1 このカリキュラムは、2023年度のものであります。したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は2023年度は開講しません。

3 集は集中講義です。

# 文学研究科

## 日本語日本文学専攻（博士後期課程）

### 概要と特色

本課程は後期3年の課程で、博士前期課程との連続性を重視した積み上げ方式である。教育・研究の内容は、日本文学と日本語学の2研究分野を根幹とし、これに関連分野を配した。

根幹をなす2研究分野は、特殊講義と研究指導の軸をなす課題研究とで構成する。

#### 1 ディプロマ・ポリシー

日本文学・日本語学それぞれの体系的および総合的な基礎的研究能力や横断的学識を証明する十分な単位を修得し、これらの2研究分野の中で特に深く研究する分野での高度専門職業人としての基礎的問題解決能力を身につけていることを証明する博士論文を作成し、作成した博士論文が審査に合格して、さらに最終試験に合格すれば、博士（文学）の学位が授与される。

なお、本専攻では、学生がその研究を組織的・体系的に深化させ十分な学問的水準を満たした学位論文を作成して学位を得るために、次のような手順を定めている。

- ・ 専攻として年3回の研究発表会の機会を設けている。各学生の博士論文提出の目標年次にねらいを定めながら、計画に応じて、各回の発表の機会を利用し発表を行うことで、研究の意義と目標、現在の達成度と今後の見通し等について評価を受け、検討を加えることにより、着実に博士論文の全体構想を確認し完成度を高める。
- ・ 提出後の口頭試問。主査1名と副査3名によって、審査を行う。
- ・ 学会誌への投稿・掲載。学生は学位論文提出の時点までに、研究内容の一部を査読付きの学会誌に投稿・掲載し、自らの研究を公にして広く学術的評価を受けておかなければならない。

#### 2 カリキュラム・ポリシー

日本文学と日本語学の2研究分野を根幹とし、これに関連分野を配し、それぞれ次のように構成している。

日本文学研究分野の古代中世文学特殊講義および近世近代文学特殊講義においては、古代中世文学を代表する和歌・物語と近世近代文学の小説等を中心とする科目を核とし、文献学および文芸学の両面から文学研究の方法について指導している。これに、文学史の時代区分を基準として各時代の作品研究の科目を配することにより、日本文学に関する幅広い知識の修得と、ジャンル・作品に即した専門的研究が可能になるよう配慮している。

日本語学研究分野の日本語学特殊講義においては、他言語との対照研究をも含む現代日本語の諸問題を幅広く追求するとともに、古代語の文字表現に関する研究、語彙の種々相に関する研究など、多様な領域・対象を扱う科目を配することにより、多角的な視点と方法による日本語の共時的・通時的研究を深めることができるよう配慮している。

関連分野では、日本思想史・日本民俗学・和漢比較文学・キリスト教思想史に関する特殊講義を配している。

#### 3 アドミッション・ポリシー

本課程は、修士課程設置に際して設定した目標を継続発展させ、高度な専門性を持つ職業人を育成することを第一とするとともに、高度な研究能力・学識を持つ研究者を養成することも目的とする。このため、専門研究の深化を図るとともに、研究職・教育職をはじめとする各種の専門職に幅広く適応しうる高度専門職業人たらしめる意欲的な学生を求める。

# 日本語日本文学専攻博士後期課程カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次			担 当 者	摘 要
			I期	II期	I	II	III		
日 本 文 学	古代中世文学特殊講義 I	2	2		I	II	III	教 授 東 城 敏 毅	⑧
	古代中世文学特殊講義 II	2		2	I	II	III	教 授 東 城 敏 毅	
	古代中世文学特殊講義 III	2	2		I	II	III	教 授 中 井 賢 一	
	古代中世文学特殊講義 IV	2		2	I	II	III	教 授 中 井 賢 一	
	古代中世文学特殊講義 V	2			I	II	III	非常勤講師 阿 部 泰 郎	
	古代中世文学課題研究 I	2	2		I	II	III	教 授 東 城 敏 毅	
	古代中世文学課題研究 I	2	2		I	II	III	教 授 中 井 賢 一	
	古代中世文学課題研究 II	2		2	I	II	III	教 授 東 城 敏 毅	
	古代中世文学課題研究 II	2		2	I	II		教 授 中 井 賢 一	
近 世 近 代 文 学	近世近代文学特殊講義 I	2	2		I	II	III	教 授 山 根 道 公	※
	近世近代文学特殊講義 II	2		2	I	II	III	教 授 山 根 道 公	
	近世近代文学特殊講義 III	2	2		I	II	III	教 授 山 根 知 子	
	近世近代文学特殊講義 IV	2		2	I	II	III	教 授 山 根 知 子	
	近世近代文学特殊講義 V	2			I	II	III		
	近世近代文学特殊講義 VI	2	2		I	II	III	教 授 長 原 し の ぶ	
	近世近代文学特殊講義 VII	2		2	I	II	III	教 授 長 原 し の ぶ	
	近世近代文学課題研究 I	2	2		I	II	III	教 授 山 根 知 子	
	近世近代文学課題研究 I	2	2		I	II	III	教 授 山 根 道 公	
	近世近代文学課題研究 I	2	2		I	II	III	教 授 長 原 し の ぶ	
	近世近代文学課題研究 II	2		2	I	II	III	教 授 山 根 知 子	
	近世近代文学課題研究 II	2		2	I	II	III	教 授 山 根 道 公	
近世近代文学課題研究 II	2		2		II	III	教 授 長 原 し の ぶ		
日 本 語 学	日本語学特殊講義 I	2			I	II	III		※ ※  ※ ⑧
	日本語学特殊講義 II	2			I	II	III		
	日本語学特殊講義 III	2	2		I	II	III	教 授 尾 崎 喜 光	
	日本語学特殊講義 IV	2		2	I	II	III	教 授 尾 崎 喜 光	
	日本語学特殊講義 V	2			I	II	III		
	日本語学特殊講義 VI	2			I	II	III	非常勤講師 瀬 間 正 之	
	日本語学課題研究 I	2	2		I	II	III	教 授 尾 崎 喜 光	
	日本語学課題研究 II	2		2	I	II	III	教 授 尾 崎 喜 光	
専 門 関 連 科 目	日本思想史特殊講義 I	2	2		I	II	III	非常勤講師 本 村 昌 文	※
	日本思想史特殊講義 II	2		2	I	II	III	非常勤講師 本 村 昌 文	
	日本民俗学特殊講義 I	2	2		I	II	III	非常勤講師 小 嶋 博 巳	
	日本民俗学特殊講義 II	2		2	I	II	III	非常勤講師 小 嶋 博 巳	
	和漢比較文学特殊講義	2			I	II	III		
	キリスト教思想史特殊講義 I	2	2		I	II	III	非常勤講師 出 村 和 彦	
	キリスト教思想史特殊講義 II	2		2	I	II	III	非常勤講師 出 村 和 彦	

- (注) 1 このカリキュラムは、2023年度のもので、したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は2023年度は開講しません。
- 3 ⑧は集中講義です。

# 文学研究科

## 英語英米文学専攻（博士前期課程）

### 英語英米文学専攻博士前期課程の概要と特色

本専攻は、本学の教育理念を踏まえて、英語英米文学の思想的基盤であるキリスト教思想に通暁しつつ英語英米文学の高度な専門的研究を進めるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問い、生きることの意義を追究する敏活柔軟な知性の育成を志し、研究職、教育職を初めとして各種の専門職に幅広く適応する人材の養成を目指している。

#### 1 ディプロマ・ポリシー

本課程の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション、実践翻訳並びに関連分野にわたって、高い関心を持ち、広範な知識を身に付けている。
- (2) 論理的な思考力を持ち、専門分野の学問領域に関わる諸問題を深く追究できる。
- (3) 研究対象を分析するための客観的な判断力と健全な批判精神を備えている。
- (4) 英米を中心とした英語圏の文学、言語の諸問題について高い関心を有している。
- (5) 高度な英語力と本課程で修得した専門知識並びに横断的学識を生かして、広く社会に貢献しようとする積極的姿勢を有している。

#### 2 カリキュラム・ポリシー

本課程では、上記の教育目標を達成するために、英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション、実践翻訳のそれぞれの分野において「特論」と「演習」の科目を配置する。各分野の特論科目においては、研究遂行に必要な高度な英語力を身につけるとともに、論文執筆を見据えての問題設定と研究方法、文献の収集・分析方法を学び、論理構築の力をつけることを目指す。また、演習科目を通して、論理構築の力をさらに鍛えながら、具体的かつきめ細かな論文指導を行う。これらに加え、キリスト教思想等に関する科目を専門関連科目として配置し、高度な専門性と人間存在の意義を追究できる広い視野に立つ編成を旨とする。

#### 3 アドミッション・ポリシー

本課程では、上記の教育目標に共鳴し、英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション、実践翻訳のいずれかを中心にして専門的に研究しながら、国際的視野に立って広く国内外で活躍し、自己の人生を豊かにするとともに、社会に貢献しようという意欲を持つ人を受け入れる。

# 英語英米文学専攻博士前期課程カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要
			I 期	II 期	I	II		
英 米 文 学	英米文学特論 I A	2	2		I	II	教授 新野 緑	イギリス小説研究
	英米文学特論 I B	2		2	I	II	教授 新野 緑	イギリス小説研究
	英米文学特論 II A	2	2		I	II	教授 David Ramsey	文学批評理論研究
	英米文学特論 II B	2		2	I	II	教授 David Ramsey	文学批評理論研究
	英米文学特論 III A	2	2		I	II	准教授 松井 かや	イギリス・アイルランド小説研究
	英米文学特論 III B	2		2	I	II	准教授 松井 かや	イギリス・アイルランド小説研究
	英米文学特論 IV A	2	2		I	II	教授 赤松 佳子	英詩研究
	英米文学特論 IV B	2		2	I	II	教授 赤松 佳子	英詩研究
	英米文学特論 V A	2	2		I	II	非常勤講師 里内 克巳	現代アメリカ作家研究
	英米文学特論 V B	2		2	I	II	非常勤講師 里内 克巳	現代アメリカ作家研究
	英米文学演習 A	2	2		I	II	教授 新野 緑	イギリス文学作品研究
	英米文学演習 A	2		2	I	II	教授 David Ramsey	アメリカ文学作品研究
	英米文学演習 A	2	2		I	II	教授 赤松 佳子	イギリス文学作品研究
	英米文学演習 B	2		2	I	II	教授 新野 緑	イギリス文学作品研究
英米文学演習 B	2	2		I	II	教授 David Ramsey	アメリカ文学作品研究	
英米文学演習 B	2		2	I	II	教授 赤松 佳子	イギリス文学作品研究	
英 語 学 言 語 学	英語学言語学特論 I A	2	2		I	II	教授 木津 弥佳	第二言語習得研究
	英語学言語学特論 I B	2		2	I	II	教授 木津 弥佳	第二言語習得研究
	英語学言語学特論 II A	2	2		I	II	教授 坂口 真里	現代統語理論の研究
	英語学言語学特論 II B	2		2	I	II	教授 坂口 真里	現代統語理論の研究
	英語学言語学特論 III A	2	2		I	II	教授 齋藤 衛	英語学言語学研究
	英語学言語学特論 III B	2		2	I	II	教授 齋藤 衛	英語学言語学研究
	英語学言語学演習 A	2	2		I	II	教授 坂口 真里	英語学言語学研究
	英語学言語学演習 A	2		2	I	II	教授 齋藤 衛	英語学言語学研究
	英語学言語学演習 A	2	2		I	II	教授 木津 弥佳	英語学言語学研究
	英語学言語学演習 B	2		2	I	II	教授 坂口 真里	英語学言語学研究
英語学言語学演習 B	2	2		I	II	教授 齋藤 衛	英語学言語学研究	
英語学言語学演習 B	2		2	I	II	教授 木津 弥佳	英語学言語学研究	
国 際 コ ミュ ニ ケー ション	国際コミュニケーション特論 I A	2	2		I	II		※
	国際コミュニケーション特論 I B	2		2	I	II	非常勤講師 小野 真由美	文化人類学、移民・観光研究
	国際コミュニケーション特論 II A	2	2		I	II	非常勤講師 桑山 敬己	文化人類学、民俗学(集)
	国際コミュニケーション特論 II B	2		2	I	II	非常勤講師 桑山 敬己	文化人類学、民俗学(集)
	国際コミュニケーション特論 III A	2	2		I	II	准教授 Thomas Fast	Global Citizenship Education
	国際コミュニケーション特論 III B	2		2	I	II	准教授 Thomas Fast	Global Citizenship Education
	国際コミュニケーション演習 A	2	2		I	II	准教授 Thomas Fast	Global Citizenship Education
	国際コミュニケーション演習 B	2		2	I	II	准教授 Thomas Fast	Global Citizenship Education
実 践 翻 訳	翻訳学特論 A	2	2		I	II	教授 木津 弥佳	翻訳学
	翻訳学特論 B	2		2	I	II	教授 木津 弥佳	翻訳学
	翻訳教育特論 A	2	2		I	II	非常勤講師 行木 瑛子	外国語教育における翻訳
	翻訳教育特論 B	2		2	I	II		※
	翻訳実践演習 I A	2	2		I	II	非常勤講師 小笠原 ヒロ子	英日実践翻訳
	翻訳実践演習 I B	2		2	I	II	非常勤講師 小笠原 ヒロ子	英日実践翻訳
	翻訳実践演習 II A	2	2		I	II	准教授 Jason Williams	日英実践翻訳
	翻訳実践演習 II B	2		2	I	II	准教授 Jason Williams	日英実践翻訳
	翻訳学演習 A	2	2		I	II	教授 木津 弥佳	翻訳学・実践翻訳
	翻訳学演習 B	2		2	I	II	教授 木津 弥佳	翻訳学・実践翻訳
専 門 関 連 科 目	聖書学特論 I A	2	2		I	II		※
	聖書学特論 I B	2		2	I	II	教授 山根 道公	文学と聖書
	キリスト教思想特論 I A	2	2		I	II		※
	キリスト教思想特論 I B	2		2	I	II		※
	キリスト教思想特論 II A	2	2		I	II	非常勤講師 袴田 渉	英米文学を読み解くためのキリスト教学
	キリスト教思想特論 II B	2		2	I	II	非常勤講師 袴田 渉	英米文学を読み解くためのキリスト教学
	英語科教育特論 A	2	2		I	II	非常勤講師 伊藤 豊美	英語科教育の理論と実践
英語科教育特論 B	2		2	I	II	非常勤講師 伊藤 豊美	英語科教育の理論と実践	

(注) 1 このカリキュラムは、2023年度のもので、したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は2023年度は開講しません。

3 (集)は集中講義です。

# 文学研究科

## 英語英米文学専攻（博士後期課程）

### 概要と特色

本課程では、グローバル化に伴う多様かつ複雑な課題の解決の一助となる普遍的な人間と文化の研究を人文・社会科学の観点から行う。また、社会的要請に応えるため、国際的感覚と異文化間コミュニケーション能力を身につけ、高度な専門知識と国際的水準の理論的・実証的研究を遂行する力をもって、広く国際社会へ貢献できる人材を育成することを目的とする。特に、英米文学・英語学言語学・国際コミュニケーションの領域において、それぞれの専門分野を牽引する研究者、並びに国際語としての英語を用いて日本と海外との学術交流・文化交流に貢献しうる高度専門職業人を養成することを旨とする。主に高等教育機関等における研究者とトランスファラブルスキルを身につけた専門的職業従事者という二つのキャリアパスを想定した教育を行う。

#### 1 ディプロマ・ポリシー

本課程の所定の授業科目について20単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば博士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション並びに関連分野にわたって高い関心を持ち、自身の専攻する分野について特に広範かつ高度な知識を身につけている。
- (2) 論理的な思考力を持ち、専攻分野の学問領域に関わる諸問題を体系的かつ総合的に追究できる。
- (3) 研究対象を分析するための客観的な判断と健全な批判精神を備え、自身の見解を的確な言語で表現することのできる能力を有している。
- (4) 高度かつ専門的な英語力と本課程で修得した専門知識並びに横断的学識を生かして、広く国際社会に貢献しようとする積極的姿勢を有し、高度専門職業人としての問題解決能力を獲得している。

#### 2 カリキュラム・ポリシー

本課程では、上記の教育目標を達成するために、研究指導科目としての「課題研究」に加え、英米文学分野、英語学言語学分野、国際コミュニケーション分野のそれぞれにおいて「特殊講義」科目を配置する。各分野の「特殊講義」科目においては、高度な研究遂行に必要な英語力を活用しつつ、論文執筆を見据えての問題設定と可能な研究・分析方法を選択し、高度な論理構築の力をつけることを目指す。また、「課題研究」科目を通して研究者としての論理構築の力をさらに鍛えながら独創的研究力を養い、具体的かつきめ細かな論文指導を行う。これらに加え「ヨーロッパ社会史」、「宗教社会学」、「外国語（英語）教育」や「キャリアデザイン」に関する科目を関連分野の中に配置し、それらの学びを通じて、より広範な視野に立って自身の研究の意義を追究できる科目編成を旨とする。

#### 3 アドミッション・ポリシー

本課程は、博士前期課程修了の要件である基礎知識と研究能力および英語と日本語の運用能力を有し、英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーションの分野における専門的テーマに関して理論的・実証的研究を遂行して専門研究の深化を図り、研究職や各種の専門職に幅広く適応しうる高度専門職業人を目指して学問に取り組もうとする強い意思がある者を受け入れる。

# 英語英米文学専攻博士後期課程カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次			担 当 者	摘 要
			I 期	II 期	I	II	III		
英米文学	英米文学特殊講義 I A	2	2		I	II	III	教授 新野 緑	イギリス小説研究
	英米文学特殊講義 I B	2		2	I	II	III	教授 新野 緑	イギリス小説研究
	英米文学特殊講義 II A	2	2		I	II	III	教授 David Ramsey	アメリカ文学批評・批評理論
	英米文学特殊講義 II B	2		2	I	II	III	教授 David Ramsey	アメリカ文学批評・批評理論
	英米文学特殊講義 III A	2	2		I	II	III	非常勤講師 金津和美	イギリス詩
	英米文学特殊講義 III B	2		2	I	II	III	非常勤講師 金津和美	イギリス詩
	英米文学特殊講義 IV A	2	2		I	II	III	非常勤講師 里内克巳	アメリカ文学研究
	英米文学特殊講義 IV B	2		2	I	II	III	非常勤講師 里内克巳	アメリカ文学研究
英語学言語学	英語学言語学特殊講義 I A	2	2		I	II	III	教授 齋藤 衛	統語論・日英文法比較研究
	英語学言語学特殊講義 I B	2		2	I	II	III	教授 齋藤 衛	統語論・日英文法比較研究
	英語学言語学特殊講義 II A	2	2		I	II	III	教授 木津 弥佳	第二言語習得研究
	英語学言語学特殊講義 II B	2		2	I	II	III	教授 木津 弥佳	第二言語習得研究
	英語学言語学特殊講義 III A	2	2		I	II	III	非常勤講師 田中 秀和	統語論
	英語学言語学特殊講義 III B	2		2	I	II	III	非常勤講師 田中 秀和	統語論
	英語学言語学特殊講義 IV A	2	2		I	II	III	非常勤講師 杉崎 司	第一言語習得研究
	英語学言語学特殊講義 IV B	2		2	I	II	III	非常勤講師 杉崎 司	第一言語習得研究
国際コミュニケーション	IC 特殊講義 I A	2			I	II	III	非常勤講師 桑山 敬己	文化人類学・異文化理解 <sup>③</sup>
	IC 特殊講義 I B	2			I	II	III	非常勤講師 桑山 敬己	文化人類学・異文化理解 <sup>③</sup>
	IC 特殊講義 II A	2		2	I	II	III		※
	IC 特殊講義 II B	2		2	I	II	III		※
	IC 特殊講義 III A	2	2		I	II	III	准教授 Thomas Fast	地球市民教育
	IC 特殊講義 III B	2		2	I	II	III	准教授 Thomas Fast	地球市民教育
	IC 特殊講義 IV A	2	2		I	II	III	非常勤講師 William Bradley	文化人類学・国際教育研究
	IC 特殊講義 IV B	2		2	I	II	III	非常勤講師 William Bradley	文化人類学・国際教育研究
研究指導科目	課題研究 I A	2	2		I			教授 新野 緑	<sup>③</sup> 副研究指導教員 ※ 副研究指導教員 ※ 副研究指導教員 ※ 副研究指導教員 ※ 副研究指導教員 ※ ※ ※
	課題研究 I A	2		2	I			教授 齋藤 衛	
	課題研究 I A	2		2	I			教授 木津 弥佳	
	課題研究 I A	2		2	I			非常勤講師 桑山 敬己	
	課題研究 I A	2	2		I			教授 David Ramsey	
	課題研究 I A	2		2	I				
	課題研究 I A	2	2		I			准教授 Thomas Fast	
	課題研究 I B	2		2	I			教授 新野 緑	
	課題研究 I B	2		2	I			教授 齋藤 衛	
	課題研究 I B	2		2	I			教授 木津 弥佳	
	課題研究 I B	2		2	I			非常勤講師 桑山 敬己	
	課題研究 I B	2	2		I			教授 David Ramsey	
	課題研究 I B	2		2	I				
	課題研究 I B	2	2		I			准教授 Thomas Fast	
	課題研究 II A	2				II			
	課題研究 II B	2				II			
	課題研究 III A	2					III		
	課題研究 III B	2					III		
関連科目	ヨーロッパ社会史 A	2	2		I	II	III	教授 轟木 広太郎	ヨーロッパ社会史
	ヨーロッパ社会史 B	2		2	I	II	III	教授 轟木 広太郎	ヨーロッパ社会史
	宗教社会学 A	2	2		I	II	III	准教授 福田 雄	宗教社会学
	宗教社会学 B	2		2	I	II	III	准教授 福田 雄	宗教社会学
	外国語（英語）教育 I A	2	2		I	II	III	非常勤講師 達川 奎三	英語科教育
	外国語（英語）教育 I B	2		2	I	II	III	非常勤講師 達川 奎三	英語科教育
	外国語（英語）教育 II A	2	2		I	II	III	准教授 Thomas Fast	TESOL
	外国語（英語）教育 II B	2		2	I	II	III	准教授 Thomas Fast	TESOL
	キャリアデザイン A	2	2		I	II	III	教授 山下 美紀	キャリア開発
	キャリアデザイン B	2		2	I	II	III	教授 山下 美紀	キャリア開発

(注) 1 このカリキュラムは、2023 年度のものであります。したがって、2024 年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は 2023 年度は開講しません。

3 <sup>③</sup>は集中講義です。

# 文学研究科

## 社会文化学専攻（修士課程）

### 概要と特色

本専攻は、社会学と歴史学の2研究分野から成る。それぞれの研究の深化、発展に努めるとともに、専門関連科目をも含め、それらを有機的に関連させ、新たな研究の地平を切り拓こうとする。

#### 1 ディプロマ・ポリシー

本専攻に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 多角的な視野に立った学識と専攻分野における優れた研究能力
- (2) 高度な専門性を要する職業等に必要の高等能力
- (3) 社会学・歴史学分野における、社会文化に関する洞察および問題解決の能力

#### 2 カリキュラム・ポリシー

人間社会の諸現象を考察するために、社会学と歴史学の2研究分野を設ける。

社会学分野では、とくに地域社会学、家族社会学、社会集団・組織論、社会心理学、宗教社会学の諸領域の方法によって、現代社会の構造や機能を明らかにしていく。

歴史学分野では日本・アジア・ヨーロッパの3地域をそれぞれ対象とする歴史学と、隣接する学問領域である考古学および民俗学によって、先史時代から現代に至る社会とその文化を考察する。

さらに専門関連科目として社会・地理歴史科教育、社会言語学、社会文学、文化人類学、社会倫理学、社会哲学、社会福祉学の各特論を開講して、2分野の教育・研究内容がより豊かになるように配慮している。

このようなカリキュラムにより社会と文化に対してトータルなアプローチを可能にする。

#### 3 アドミッション・ポリシー

本専攻では次のような人材を求めている。

社会や文化に対する強い探究心を持ち、社会現象を共時的、通時的にとらえる幅広い視野を備え、研究者として自立した問題解決能力を獲得しようとするもの。



# 社会文化学専攻カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要
			I期	II期	I	II		
社 会 学	地域社会学特論 I	2	2		I	II	教授 二階堂 裕子	◎※
	地域社会学特論 II	2	2		I	II	教授 二階堂 裕子	
	家族社会学特論 I	2	2		I	II	教授 山下 美紀	
	家族社会学特論 II	2	2		I	II	教授 山下 美紀	
	社会集団・組織論特論 I	2	2		I	II	教授 濱西 栄司	
	社会集団・組織論特論 II	2	2		I	II	教授 濱西 栄司	
	社会心理学特論 I	2			I	II	非常勤講師 土井 隆義	
	社会心理学特論 II	2			I	II		
	宗教社会学特論 I	2	2		I	II	准教授 福田 雄	
	宗教社会学特論 II	2	2		I	II	准教授 福田 雄	
	社会学演習 I	2	2		I	II	教授 山下 美裕	
	社会学演習 I	2	2		I	II	教授 二階堂 美裕	
	社会学演習 I	2	2		I	II	教授 森濱 西田	
	社会学演習 I	2	2		I	II	准教授 福田 雄	
	社会学演習 II	2	2		I	II	教授 山下 美裕	
	社会学演習 II	2	2		I	II	教授 二階堂 美裕	
	社会学演習 II	2	2		I	II	教授 森濱 西田	
	社会学演習 II	2	2		I	II	准教授 福田 雄	
社 会 史	日本社会史特論 I	2	2		I	II	准教授 久野 洋	
	日本社会史特論 II	2	2		I	II	准教授 久野 洋	
	アジア社会史特論 I	2	2		I	II	教授 鈴木 真	
	アジア社会史特論 II	2	2		I	II	教授 鈴木 真	
	ヨーロッパ社会史特論 I	2	2		I	II	教授 轟 木 広太郎	
	ヨーロッパ社会史特論 II	2	2		I	II	教授 轟 木 広太郎	
	日本民俗学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 小嶋 博巳	
	日本民俗学特論 II	2	2		I	II	非常勤講師 小嶋 博巳	
	考古学特論 I	2	2		I	II	教授 紺谷 亮	
	考古学特論 II	2	2		I	II	教授 紺谷 亮	
	社会史演習 I	2	2		I	II	准教授 紺谷 亮	
	社会史演習 I	2	2		I	II	教授 久野 洋	
	社会史演習 I	2	2		I	II	教授 鈴木 真	
	社会史演習 II	2	2		I	II	教授 轟 木 広太郎	
	社会史演習 II	2	2		I	II	教授 紺谷 亮	
社会史演習 II	2	2		I	II	准教授 久野 洋		
社会史演習 II	2	2		I	II	教授 鈴木 真		
社会史演習 II	2	2		I	II	教授 轟 木 広太郎		
専 門 関 連 科 目	社会言語学特論 I	2	2		I	II	教授 尾崎 喜光	※※※※
	社会言語学特論 II	2	2		I	II	教授 尾崎 喜光	
	社会文学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 綾目 広	
	社会文学特論 II	2	2		I	II	非常勤講師 綾目 広	
	社会文学特論 III	2			I	II		
	社会文学特論 IV	2			I	II		
	文化人類学特論 I	2			I	II	非常勤講師 長 坂 格	
	文化人類学特論 II	2	2		I	II		
	社会倫理学特論 I	2			I	II		
	社会倫理学特論 II	2			I	II		
	社会哲学特論 I	2			I	II	教授 崎川 修	
	社会哲学特論 II	2			I	II	教授 崎川 修	
	社会・地理歴史科教育特論 I	2	2		I	II	教授 森 泰	
	社会・地理歴史科教育特論 II	2	2		I	II	教授 森 泰	
社会福祉学特論 I	2	2		I	II	教授 杉山 博		
社会福祉学特論 II	2	2		I	II	教授 杉山 博		

- (注) 1 このカリキュラムは、2023年度のもので、したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は2023年度は開講しません。
- 3 ◎は集中講義です。

# 大学院の紹介 —人間生活学研究科—

人間発達学専攻（修士課程）人間発達学コース  
 人間発達学専攻（修士課程）臨床心理学コース  
 食品栄養学専攻（修士課程）  
 人間生活学専攻（修士課程）  
 人間複合科学専攻（博士後期課程）

## 概要と特色

本研究科は、修士課程と博士後期課程で構成され、修士課程には人間発達学専攻人間発達学コース、人間発達学専攻臨床心理学コース、食品栄養学専攻、人間生活学専攻の3専攻・2コースが置かれ、博士後期課程には人間複合科学専攻1専攻が設置されている。さらに、修士課程の各専攻・コースには3～7研究分野が設けられ、博士後期課程の人間複合科学専攻には3研究領域が設けられている（表）。修士課程の研究分野と博士後期課程の研究領域との間には密接な関係があり、人間複合科学専攻の精神機能論領域は人間発達学専攻の両コースの研究分野に、保健栄養論領域は食品栄養学専攻の研究分野に、生活文化論領域は人間生活学専攻の研究分野にほぼ対応するものである。

表 人間生活学研究科の構成

修 士 課 程		博 士 後 期 課 程	
専 攻 ・ コ ー ス	研 究 分 野	専 攻	研 究 領 域
人間発達学専攻 人間発達学コース	発 達 基 礎 論 発 達 支 援 論 専 門 関 連 科 目	人間複合科学専攻	精 神 機 能 論
人間発達学専攻 臨床心理学コース	臨 床 心 理 論 研 究 法 分 野 基 礎 分 野 社 会 分 野 精 神 ・ 身 体 分 野 心 理 支 援 分 野 専 門 関 連 科 目		
食品栄養学専攻	栄 養 管 理 学 栄 養 学 食 品 学		保 健 栄 養 論
人間生活学専攻	人 間 社 会 論 生 活 文 化 論 生 活 経 営 論 生 活 環 境 論		生 活 文 化 論

本研究科は、本学の建学の精神、すなわちキリスト教精神とリベラル・アーツ教育の伝統に基礎を置き、人間及び人間生活を精神活動、身体維持活動、文化活動の面からとらえ、実生活に即した研究を行うとともに、修士課程においては高度専門職業人を、博士後期課程においては自立した研究者並びに高度の研究能力をもつ専門的な職業人を養成することを目的としている。

この目的を達成するため、修士課程においては、上記3専攻・2コースのいずれかの研究分野で実務的、基礎的研究活動を行う。ここで学生に要求されるのは、研究活動を通して人間と社会の実態を学び、それぞれの専攻分野における社会的、教育的、文化的等の諸問題を把握し、基礎的問題解決能力を身につけること、換言するならば、リサーチマインドを持つことである。

これに対し、博士後期課程の人間複合科学専攻では、修士課程における実務的・基礎的研究活動を基盤にして、広い視点から社会的ニーズの高い研究を行う。ここでは、修士課程の3専攻・2コースが1専攻に統合されている。これは、人間及び人間生活を、精神機能論領域、保健栄養論領域、生活文化論領域の視点から深く、かつ豊かに追究するためである。

## 1 ディプロマ・ポリシー

博士後期課程においては、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すれば博士（学術）の学位が授与される。

その際、次のような能力を身につけていることが求められる。

- (1) 社会的・国際的に通用する俯瞰的な視野に立った学識と専攻分野における優れた研究能力
- (2) 論理的な思考力を持ち、専攻分野にかかわる諸問題を深く追求することができる洞察力および問題解決能力
- (3) 高度な専門性を要する職業等に必要能力

人間発達学専攻（修士課程）、食品栄養学専攻（修士課程）、人間生活学専攻（修士課程）においては、所定の授業科目について必要数の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（学術）の学位が授与される。

その際、次のような能力と資質を身につけていることが求められる。

- (1) 多角的な視野に立った学識と各専攻分野における優れた研究能力
- (2) 論理的な思考力を持ち、専攻分野にかかわる諸問題を深く追求することができる洞察力および高度の汎用的能力
- (3) 実社会の各分野で指導的役割を果たすために必要なコミュニケーション能力と高い倫理性

## 2 カリキュラム・ポリシー

本研究科のカリキュラムは、リベラル・アーツ教育を基盤に置き、各専攻の教育目標を達成するために必要な研究分野を配置したものとなっている。

博士後期課程では、精神機能論領域、保健栄養論領域、生活文化論領域の授業科目を配している。各授業科目はそれぞれの専門分野を包括する独立の教育・研究単位であるが、各々の研究領域やそれらを結んだ新たな研究領域の多様な研究課題に多角的・融会的に対応することを可能にしている。博士課程での学びを通して、研究者、高度専門職業人としての問題解決能力を身につけることができる。

修士課程におけるカリキュラムは、学士課程段階の教育との有機的な接続を図り、人間発達学専攻人間発達学コースは3研究分野、同臨床心理学コースは7研究分野、食品栄養学専攻は3研究分野、人間生活学専攻は4研究分野をもってそれぞれ構成する。さらに、いずれの専攻においても、専門関連科目を配し、高度な専門性と多角的な視野および体系的な知識の醸成に寄与しうる構成をとっている。

## 3 アドミッション・ポリシー

本研究科では次のような人材を求めている。

本研究科におけるリベラル・アーツ教育の理念に共鳴し、各研究分野に対する強い探究心をもつ者。

各自の専門研究の深化を図るとともに、多角的な視野に立って広く深く考察する洞察力、問題解決能力を獲得することに意欲的な者。

# 人間生活学研究科

## 人間発達学専攻（修士課程）人間発達学コース

### 概要と特色

本専攻の人間発達学コースは、人間の生涯発達研究上で重要な人間性の形成に関する基礎的問題、心理的適応と心の健康及び障害児に関する問題、また生涯発達の基盤となる感性や身体の健全発達の問題等を専門的に考究するコースである。併せて新しい時代の人間発達研究の学術的知見がもたらした総合生命観に基づいて、「新しいパラダイムによる人間についての発達観」の創出を試みる場となることを目指している。

#### 1 人間発達学コースのディプロマ・ポリシー

本専攻の人間発達学コースに2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば、修士（学術）の学位が授与される。

- (1) 発達基礎論、発達支援論にかかわる高度で専門的な知識と研究能力、技能あるいは技法を習得し、それらを社会に還元できる専門性と実践的視野を兼ね備えている。
- (2) 諸課題に取り組むにあたり、修得した知識と研究能力、技能あるいは技法を生かして、発達基礎論、発達支援論の視点とともに、人間科学の諸領域の知見や、人間科学の視点である学際性・総合性を踏まえることができ、倫理的配慮をもって様々な人々と協働して社会に貢献ができる。

#### 2 人間発達学コースのカリキュラム・ポリシー

発達基礎論と発達支援論のふたつの観点からの統合的人間発達研究による、その全体像の把握を、本コースのカリキュラム構成に反映させている。

第一の観点は、脳発達の最新の知見を中心とした発達の普遍的側面の研究である。この普遍的側面からの研究を、カリキュラムの研究分野欄では、「発達基礎論」と命名し、新しい発達観の創出基盤を究明する。

第二の観点は、生命の主体者としての個人の側面からの発達研究である。個々の人間は、人それぞれに異なる。したがって心身の発達研究には、幾通りかのパターンまたはライフ・スタイルがある。そのなかでいかに健全な発達を追求・促進するかは、重要なことである。また、人間は生活している文化のなかで発達を促進させる。なかでも発達初期での情操教育的要因の影響力は見逃せない。第二の観点は、これらを単に統合したものではなく、教育学、児童文学、芸術等を通して、理論を踏まえた実践的教育の側面から「発達支援論」として論じることにより、人間発達理解の深化を目指し、情操教育を中心とした発達の文化的側面から人間の発達を解明する。このことにより、教職志向の学部生の受け入れだけでなく、現職の幼、小、特別支援学校の教員のレベルアップを図ることも意図している。

加えて、人間発達を学校等の教育現場で的確に深く把握するため、「専門関連科目」として心理学と教育学に関する実践的科目を配置している。

#### 3 人間発達学コースのアドミッション・ポリシー

本コースでは、発達基礎論、発達支援論にかかわる専門的な知識と研究能力を持つとともに、多様な研究課題に取り組む研究態度を持った学生を求める。本コースを志願する者は、学部において心理学、初等教育の教職科目についての履修をしていること、もしくは初等教育の教職経験を積んでいることが望まれる。

本コースを志願する者は、出願時に発達基礎論か発達支援論のいずれかの研究分野を選択することが求められる。

なお、本コースでは、所定の要件を満たし、必要な科目を履修することによって、幼稚園教諭及び小学校教諭の専修免許状を取得することが可能である。

# 人間発達学専攻人間発達学コースカリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要
			I 期	II 期	I	II		
発 達 基 礎 論	発達心理学特論A	2	2		I	II	教 授 湯 澤 美 紀	※ ※ ※ ※ ※
	発達心理学特論B	2		2	I	II	教 授 湯 澤 美 紀	
	発達心理学演習A	2	2		I	II	教 授 湯 澤 美 紀	
	発達心理学演習B	2		2	I	II	教 授 湯 澤 美 紀	
	生理心理学特論A	2	2		I	II		
	生理心理学特論B	2		2	I	II		
	生理心理学演習A	2	2		I	II		
	生理心理学演習B	2		2	I	II		
	大脳発達学特論 研究法特論	2 2	2 2		I I	II II	教 授 林 泰 資	
発 達 支 援 論	教育実践特論 I A	2	2		I	II	教 授 小 田 久美子	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
	教育実践特論 I B	2		2	I	II	教 授 小 田 久美子	
	教育実践特論 II A	2	2		I	II	教 授 片 山 裕 之	
	教育実践特論 II B	2		2	I	II	教 授 片 山 裕 之	
	教育実践特論 III A	2	2		I	II	准教授 青 山 新 吾	
	教育実践特論 III B	2		2	I	II	准教授 青 山 新 吾	
	発達支援論演習 I A	2	2		I	II	教 授 小 田 久美子	
	発達支援論演習 I B	2		2	I	II	教 授 小 田 久美子	
	発達支援論演習 II A	2	2		I	II	教 授 片 山 裕 之	
	発達支援論演習 II B	2		2	I	II	教 授 片 山 裕 之	
	児童文学特論	2	2		I	II	教 授 村 中 李 衣子	
	音楽特論	2		2	I	II	教 授 池 田 尚 子	
	美術特論	2		2	I	II	教 授 片 山 裕 之	
	特別支援教育特論	2		2	I	II	准教授 東 井 俊 一	
	社会教育特論	2		2	I	II	教 授 西 井 麻 美	
生徒指導特論	2	2		I	II	教 授 中 内 み 子		
専 門 関 連 科 目	保育内容特論 (人間関係)	2	2		I	II	准教授 三 宅 一 恵	隔週開講  ※
	保育内容特論 (表現)	2	2		I	II	教 授 池 田 尚 子	
	学校心理学特論	2		4	I	II	非常勤講師 多 田 志 麻 子	
	心理検査特論	2	2		I	II	教 授 中 内 み 子	
	教育心理学特論	2		2	I	II	非常勤講師 湯 澤 正 通	
	臨床心理学特論	2			I	II		

(注) 1 このカリキュラムは、2023年度のものであります。したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は2023年度は開講しません。

# 人間生活学研究科

## 人間発達学専攻（修士課程）臨床心理学コース

### 概要と特色

本専攻の臨床心理学コースは、臨床心理的研究能力と心理臨床的实践力を備えた臨床心理士、およびその専門性をもつ公認心理師を養成するコースである。教育目標は、教育、保健、医療、福祉などさまざまな専門職と共同体制を組んで実践活動、研究活動、専門活動のできるスクールカウンセラー、産業カウンセラー、保健・医療領域での心理専門職、司法領域での調査官や矯正心理専門職、開業心理臨床家等の人材を養成することにある。

#### 1 臨床心理学コースのディプロマ・ポリシー

本専攻の臨床心理学コースに2年以上在学し、所定の授業科目について36単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば、修士（学術）の学位が授与される。

- (1) 人間の心理的・社会的・身体的側面について、高度で専門的な知識と研究能力、技能あるいは技法を習得し、人間を多角的にとらえることができる。
- (2) 人間に対する共感的・客観的理解に基づき、人々を臨床心理学的に支援する実践力を身に付けている。
- (3) 教育、保健、医療、福祉、産業、司法など、様々な専門職と協働体制を組んで、倫理的配慮をもって専門的実践活動、研究活動ができる。

#### 2 臨床心理学コースのカリキュラム・ポリシー

本コースは臨床心理論、研究法分野、基礎分野、社会分野、精神・身体分野、心理支援分野、専門関連科目の7研究分野に授業科目を配している。臨床心理論の26単位は必修で、また、研究法分野、基礎分野、社会分野、精神・身体分野、心理支援分野の5分野は選択必修で、それぞれの研究分野から2単位を選択し、10単位以上を修得することになっている。なお、臨床心理論及び心理支援分野の科目は、本コースに所属する学生のみを対象とするものである。

このことによって、専門活動に関する科目、実践活動に関する科目、研究活動に関する科目をバランスよく履修できるようになっている。

#### 3 臨床心理学コースのアドミッション・ポリシー

本コースでは、臨床心理論にかかわる専門的な知識と研究能力を持つとともに、多様な研究課題に取り組む研究態度を持った学生を求める。本コースを志願する者は、学部において心理学に関する科目についての履修をしていることが望まれる。

なお、本コースでは、修了後に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」の受験資格を取得することができる。本コースは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から2005年5月に第1種大学院の指定を受け、2006年4月に入学した院生から適用されている。

また、所定の要件<sup>(※)</sup>を満たし、必要な科目を履修することによって、公認心理師の受験資格を取得することができるカリキュラムを整備している。

※「所定の要件」とは、公認心理師に関する学部科目を履修済であることを指す。公認心理師に関する学部科目を履修済であるかどうかについては、出身大学において確認しておくこと。

# 人間発達学専攻臨床心理学コースカリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要	
			I期	II期	I	II			
臨床心理学論	臨床心理学特論 I	2			I		講師 梶原彰子	課程修了の要件として、本研究分野について26単位修得するものとする。なお、本研究分野の授業科目は、本コースに所属する学生のみを対象とする。	
	臨床心理学特論 II	2		2	I		教授 中内みさ		
	臨床心理学演習A	2	2		I	II	教授 中内みさ		
	臨床心理学演習A	2	2		I	II	教授 西隆太郎		
	臨床心理学演習A	2	2		I	II	准教授 日下紀子		
	臨床心理学演習B	2		2	I	II	教授 中内みさ		
	臨床心理学演習B	2		2	I	II	教授 西隆太郎		
	臨床心理学演習B	2		2	I	II	准教授 日下紀子		
	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)	2	2			I			准教授 日下紀子
	臨床心理面接特論 II	2		2	I		准教授 東俊一		
	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	2			I			准教授 日下紀子
	臨床心理査定演習 II	2		2	I		准教授 日下紀子		
	臨床心理基礎実習A	1	2			I			教授 西隆太郎
臨床心理基礎実習B	1		2		I		講師 梶原彰子		
臨床心理実習 I (心理実践実習)	6				I~II		教授 中内みさ 教授 西隆太郎 准教授 日下紀子		
臨床心理実習 II	2				I~II		准教授 東俊一 准教授 青山新吾 講師 梶原彰子		
研究分野	心理学研究法特論	2	2			I	非常勤講師 石原金子		
	心理統計法特論	2				I	講師 梶原彰子		
基礎分野	発達心理学特論	2		2	I	II	教授 湯澤美紀	※	
	学習心理学特論	2	2		I	II	非常勤講師 堤幸一		
	生理心理学特論	2	2		I	II	教授 西隆太郎		
	教育心理学特論	2	2		I	II			
分野会	社会心理学特論	2		2	I	II	非常勤講師 芝崎美和	※	
	心理臨床関連法規特論	2			I	II			
精神・身体分野	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	4			I	非常勤講師 松本洋輔	隔週開講 ※隔週開講	
	心身医学特論	2	4			I	II		
	臨床大脳発達学特論	2	2			I	教授 林泰資		
	障害児心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	2			I	准教授 東俊一		
分心理支援	心理療法特論 I	2				I	教授 中内みさ	本研究分野の授業科目は、本コースに所属する学生のみを対象とする。	
	心理療法特論 II	2	2			I	教授 西隆太郎		
	投影法特論	2		2		I	教授 西隆太郎		
専門関連科目	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	2			I	准教授 青山新吾	隔週開講 (集)	
	司法・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	2			I	非常勤講師 関本憲章		
	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2		4		I	非常勤講師 國村博子		
	家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2				I	非常勤講師 高野恵代		
	健康心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	2	2			I	非常勤講師 多田志麻子		

- (注) 1 このカリキュラムは、2023年度のものであります。したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。
- 2 ※は2023年度は開講しません。
- 3 (集)は集中講義です。

# 人間生活学研究科

## 食品栄養学専攻（修士課程）

### 概要と特色

超高齢化社会を迎えたわが国において、保健・医療・福祉・介護の領域では、高度に専門化された知識と洗練された技能を持った人材が求められている。本専攻では、リベラルアーツ・カレッジである本学の性格を大切にしながら、「食と健康」に関する基礎・応用研究、さらには臨床的な研究を進めることにより、栄養学の実用分野から保健・医療等の領域で、社会のニーズに応えることのできる人材の養成を目指している。同時に、食に関する教育、指導ができる人材が育つことを期待している。

#### 1 食品栄養学専攻のディプロマ・ポリシー

本専攻に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば、修士（学術）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 食品および栄養に関する高度な専門的知識と技能を修得している。
- (2) 研究課題の設定力と課題を解決するための実行力を備えている。
- (3) 食品および栄養の専門家として、研究活動に対する高い倫理観をもち、人々の健康の保持増進に貢献する意欲・関心を有している。
- (4) 研究成果を社会に発信するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している。
- (5) 医療、福祉、教育の実用分野、および企業における高度専門職として活躍できる準備ができています。

#### 2 食品栄養学専攻のカリキュラム・ポリシー

本専攻では、上記の社会ニーズに応えることのできる人材を育成するために、栄養管理学、栄養学、食品学の3研究分野を配し、基礎から応用・臨床的な教育研究が行える環境を整えている。栄養管理学分野では、人体生理機能および健康管理に関する教育研究を行い、栄養学分野では、臨床栄養や栄養教育に関する教育を行うとともに、栄養素の代謝と疾病との関係についての基礎および応用的研究を行う。また、食品学分野では食品成分の機能特性や食文化、食品の衛生管理などの分野に関して科学的な究明を行うカリキュラムを編成している。さらに必要に応じて、他専攻の関連科目も履修し、幅広い視野をもつ「食」のスペシャリストの養成を目指している。このスペシャリストとは、将来の栄養学を担う研究者・教育者であり、臨床現場でイニシアチブをとることのできる高度専門職業人としての管理栄養士および栄養教諭である。

#### 3 食品栄養学専攻のアドミッション・ポリシー

本専攻では、本学の教育理念に共感し、栄養学を中心とした保健・医療等の領域で、自ら高いレベルの研究をこころざし、挑戦しようとする女性を求めている。また、幅広い知性・教養を持つための地道な努力を行い、俯瞰的な視野に立って、栄養学に関する諸問題を解決しようとする意欲のある学生を求めている。

本専攻での研究を志望する学生は、入学前に研究指導を希望する教員と面談して指導を受け、入学後の研究をスムーズに進めるための研究計画書を提出する必要がある。



## 食品栄養学専攻カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要
			I 期	II 期	I	II		
栄 養 管 理 学	栄養生理学特論 I	2	2		I	II	教 授 林 泰 資	※
	栄養生理学特論 II	2		2	I	II	教 授 林 泰 資	
	栄養管理学特論 I	2	2		I	II	教 授 戸 田 雅 裕	
	栄養管理学特論 II	2		2	I	II	教 授 戸 田 雅 裕	
	公衆栄養学特論 I	2	2		I	II		
	公衆栄養学特論 II	2	2		I	II	非 常 勤 講 師 林 宏 一	
	栄養管理学演習 I	2	2		I	II	教 授 戸 田 雅 裕	
	栄養管理学演習 I	2	2		I	II	教 授 林 泰 資	
	栄養管理学演習 II	2	2		I	II	教 授 戸 田 雅 裕	
栄 養 学	栄養学特論 I	2	2		I	II	教 授 小 林 謙 一	
	栄養学特論 II	2		2	I	II	教 授 小 林 謙 一	
	臨床栄養学特論 I	2	2		I	II	非 常 勤 講 師 今 本 美 幸	
	臨床栄養学特論 II	2	2		I	II	非 常 勤 講 師 白 神 俊 幸	
	臨床医学特論 I	2	2		I	II	准 教 授 山 下 美 保	
	臨床医学特論 II	2		2	I	II	准 教 授 山 下 美 保	
	栄養教育学特論 I	2	2		I	II	准 教 授 若 本 ゆ かり	
	栄養教育学特論 II	2		2	I	II	准 教 授 若 本 ゆ かり	
	栄養学演習 I	2	2		I	II	教 授 小 林 謙 一	
	栄養学演習 I	2	2		I	II	准 教 授 若 本 ゆ かり	
	栄養学演習 II	2		2	I	II	教 授 小 林 謙 一	
	栄養学演習 II	2	2		I	II	准 教 授 若 本 ゆ かり	
食 品 学	食品学特論 I	2	2		I	II	准 教 授 吉 金 優 優	
	食品学特論 II	2		2	I	II	准 教 授 吉 金 優 優	
	調理学特論 I	2	2		I	II	准 教 授 小 川 眞 紀 子	
	調理学特論 II	2		2	I	II	准 教 授 小 川 眞 紀 子	
	食文化特論 I	2	2		I	II	非 常 勤 講 師 五 島 淑 子	
	食文化特論 II	2		2	I	II	非 常 勤 講 師 五 島 淑 子	
	衛生微生物学特論 I	2	2		I	II	教 授 長 濱 統 彦	
	衛生微生物学特論 II	2		2	I	II	教 授 長 濱 統 彦	
	食品学演習 I	2	2		I	II	教 授 長 濱 統 彦	
	食品学演習 I	2	2		I	II	准 教 授 吉 金 優 優	
	食品学演習 II	2		2	I	II	教 授 長 濱 統 彦	
	食品学演習 II	2	2		I	II	准 教 授 吉 金 優 優	

(注) 1 このカリキュラムは、2023 年度のもので、したがって、2024 年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は 2023 年度は開講しません。

# 人間生活学研究科

## 人間生活学専攻（修士課程）

### 概要と特色

人間生活学専攻は、人間中心の生活学を総合的・専門的視座から教授研究し、深い学識と知見を授けて学術研究の発展に資するとともに、社会の要請に応える人材を育成することを目的とする。そのために、人間社会論、生活文化論、生活経営論、生活環境論の4研究分野が密接に連携し、横断的に学修できる教育研究システムをとる。本専攻のこのようなシステムは、各分野や分野間にかかわる諸問題を学際的に考究し、新たな研究課題の開発と既存の学問研究への新たな視点からの寄与を行うことをねらいとする。さらには、人間及び人間生活に関する学識と豊かな人間性を備えた、社会の創造に貢献しうる21世紀型市民リーダー、高度の専門能力を有した研究者、専門職員・教員をはじめとして専門的な業務に従事しうる人材の養成を目指す。

#### 1 人間生活学専攻のディプロマ・ポリシー

本専攻に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（学術）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 人間社会論、生活文化論、生活経営論、生活環境論の各分野ならびに関連する分野にわたって、広範囲で専門的な知識を身につけている。
- (2) 論理的思考力と判断力をもって、上記の4研究分野ならびに分野間の諸問題を学際的に考究できる。
- (3) 人間中心の生活学に強い関心を持ち、総合的に、かつ専門的に研究する意欲を有している。
- (4) 高度な専門職業人、または研究者としての課題探求力と基礎的問題解決力を身につけて、社会に積極的に貢献する態度を有している。

なお、本専攻では、所定の要件を満たし、必要な科目を履修することによって、中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状を取得することができる。

#### 2 人間生活学専攻のカリキュラム・ポリシー

本専攻のカリキュラムは、人間中心の生活学という視座から、次のような研究分野を設けている。

- ・人間の本质追求と社会とのかかわり・社会福祉等の課題を考究する人間社会論分野
- ・人々の生活を規定する文化的要素を追究する生活文化論分野
- ・人間生活そのものの科学的分析と改善向上を課題とする生活経営論分野
- ・人間生活の行われる場としての環境条件を考究する生活環境論分野

以上4研究分野に授業科目をバランスよく配するとともに、キリスト教に関する理解を深めるための授業科目も用意されている。

学生は、授業科目について30単位以上を修得するが、そのうち、本専攻では、学生が所属する研究分野を含む3研究分野にわたって、それぞれ4単位以上を修得することになっている。また、学生は、研究指導担当教員の承認を得て、他専攻・コースの授業科目を10単位を限度として履修することが可能である。

#### 3 人間生活学専攻のアドミッション・ポリシー

本専攻では、上述した教育研究上の目的に共鳴し、人間及び人間生活をめぐる問題意識をもって、多様な課題を探究し、研究課題に取り組もうとするリサーチマインドをもった人に広く門戸を開いている。あわせて当該研究分野に対する学修意欲の高い人を求める。

## 人間生活学専攻カリキュラム一覧表

研究分野	授 業 科 目	単位	週時間		対象年次		担 当 者	摘 要
			I期	II期	I	II		
人間 社会 論	人間学特論 I	2	2		I	II	教授 崎川 修	
	人間学特論 II	2		2	I	II	教授 崎川 修	
	女性学特論 I	2	2		I	II	教授 山下 美紀	
	女性学特論 II	2		2	I	II	教授 山下 美紀	
	社会倫理学特論 I	2	2		I	II	教授 崎川 修	
	社会倫理学特論 II	2		2	I	II	教授 崎川 修	
	社会福祉学特論 I	2	2		I	II	教授 杉山 博昭	
	社会福祉学特論 II	2		2	I	II	教授 杉山 博昭	
	地域福祉学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 井村 圭壯	
	地域福祉学特論 II	2		2	I	II	非常勤講師 井村 圭壯	
	人間社会論演習 I	2	2				教授 杉山 博昭	
人間社会論演習 II	2		2			教授 杉山 博昭		
生活 文化 論	日本民俗学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 小嶋 博巳	
	日本民俗学特論 II	2		2	I	II	非常勤講師 小嶋 博巳	
	比較文化特論 I	2	2		I	II	教授 紺谷 亮一	
	比較文化特論 II	2		2	I	II	教授 紺谷 亮一	
	家族・社会構造特論 I	2	2		I	II	教授 山下 美紀	
	家族・社会構造特論 II	2		2	I	II	教授 山下 美紀	
	食生活文化論特論 I	2	2		I	II	教授 清水 純一	
	食生活文化論特論 II	2		2	I	II	教授 清水 純一	
	生活文化論演習 I	2	2		I	II	教授 清水 純一	
生活文化論演習 II	2		2	I	II	教授 清水 純一		
生活 経営 論	生活経営学特論 I	2	2		I	II	教授 豊田 尚吾	※※
	生活経営学特論 II	2		2	I	II	教授 豊田 尚吾	
	家族関係学特論 I	2	2		I	II		
	家族関係学特論 II	2		2	I	II		
	消費経済学特論 I	2	2		I	II	准教授 葉口 英子	
	消費経済学特論 II	2		2	I	II	准教授 葉口 英子	
	生活情報処理特論 I	2	2		I	II	教授 大東 正虎	
	生活情報処理特論 II	2		2	I	II	教授 大東 正虎	
	生活経営論演習 I	2	2		I	II	教授 大豊田 尚吾	
生活経営論演習 II	2		2	I	II	教授 大豊田 尚吾		
生活 環境 論	生活環境学特論 I	2	2		I	II	非常勤講師 小川 賢一	
	生活環境学特論 II	2		2	I	II	非常勤講師 小川 賢一	
	住環境特論 I	2	2		I	II	准教授 成清 仁士	
	住環境特論 II	2		2	I	II	准教授 成清 仁士	
	食環境特論 I	2	2		I	II	教授 小林 謙一	
	食環境特論 II	2		2	I	II	教授 小林 謙一	
	生活環境論演習 I	2	2		I	II	准教授 成清 仁士	
	生活環境論演習 II	2		2	I	II	准教授 成清 仁士	

(注) 1 このカリキュラムは、2023年度のもので、したがって、2024年度においては、開講科目及び担当教員については変更されることがあります。

2 ※は2023年度は開講しません。

# 人間生活学研究科

## 人間複合科学専攻（博士後期課程）

### 概要と特色

本専攻は、人間及び人間生活にかかわる諸問題を多角的視座をもちつつ考究し、多様な課題に対処しうる高度な学術研究を行うことを目的とする。そのために本専攻では、精神機能論、保健栄養論、生活文化論の3研究領域を設けて、広く人間の精神的・心理的な諸問題、人間とその健康にかかわる諸問題、人間生活の社会的・文化的側面にかかわる諸問題の解決を目指し、必要な授業科目を配置している。各研究領域とそれに連なる授業科目は密接に連携し、それぞれの研究領域や研究領域間における研究課題の開発を行い、学問研究への寄与を目指すとともに、当該領域における高度の専門能力を有した研究者、並びに専門職公務員等の高度に専門的な業務に従事しうる人材の養成を目指している。

#### 1 人間複合科学専攻のディプロマ・ポリシー

本専攻に3年以上在学し、所定の授業科目について16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば、博士（学術）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 精神機能論、保健栄養論、生活文化論の分野において、高度で深い専門的知識と技能を有するとともに、3分野を包括する多角的視座を備えている。
- (2) 科学者として研究倫理を遵守し、研究課題の設定および遂行において指導的能力を有している。
- (3) グローバルな視点で研究活動を行い、その成果を人間生活にかかわる諸問題の解決のために、社会に還元する意欲と力を有している。

#### 2 人間複合科学専攻のカリキュラム・ポリシー

本専攻では、精神機能論領域、保健栄養論領域、生活文化論領域の授業科目を配している。各授業科目は、それぞれの専門分野を包括する独立の教育・研究単位であるが、各々の研究領域やそれらを結んだ新たな研究領域の多様な研究課題に、多角的・融合的に対応することを可能にしている。また、キリスト教に関する理解を深めるための授業科目も用意されている。

学生は、精神機能論、保健栄養論、生活文化論のいずれかの領域に研究の主体を置き、研究課題を策定してその課題に関係のある科目12単位以上を、1研究領域につき最低1科目、複数の研究領域から選んで履修する。研究指導には、主たる履修科目の担当教員（正研究指導担当教員）と他の履修科目の担当教員2名（副研究指導担当教員）が当たり、研究の深化と多角的視座の確保を担保している。

#### 3 人間複合科学専攻のアドミッション・ポリシーと入学前の指導

本専攻では、上の目的を達成するために、精神機能論、保健栄養論、生活文化論にかかわる専門的知識と研究能力をもつとともに、多様な研究課題に取り組む意欲をもった学生を求める。また、本専攻では、学生に本学の建学の理念であるキリスト教に関する豊かな知識をもつことも求めている。

本専攻での研究を志望する学生は、本専攻への入学前に研究指導を希望する教員と面談して指導を受け、自らの研究課題や達成目標に輪郭を与え、入学後の研究をスムーズに進めるための準備を行わなければならない。



# 博士前期課程・修士課程 入学者選抜要項

## 募集人員

研 究 科	専 攻 ・ コ ー ス	課 程	募 集 人 員	
			秋 季	春 季
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	博 士 前 期 課 程	3	若 干 名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	博 士 前 期 課 程	3	若 干 名
	社 会 文 化 学 専 攻	修 士 課 程	3	若 干 名
人 間 生 活 学 研 究 科	人 間 発 達 学 専 攻	修 士 課 程	4	若 干 名
	人 間 発 達 学 コ ー ス			
	臨 床 心 理 学 コ ー ス	修 士 課 程	7	若 干 名
	食 品 栄 養 学 専 攻	修 士 課 程	3	若 干 名
	人 間 生 活 学 専 攻	修 士 課 程	6	若 干 名

## 一般選抜

### 1 出願資格

次の資格を備えた女子

- (1) 大学を卒業した者又は本大学院入学の前までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は本大学院入学の前までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2024年4月1日において22歳に達したもの
- (10) 日本国政府国費外国人留学生として推薦を受けた者

《注意》

「一般選抜」出願資格の(9)については、次のとおりです。

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達したもの

前記出願資格の(8)(9)のいずれかによって出願しようとする者は、秋季試験は、2023年7月14日(金)、春季試験は、2023年12月15日(金)までに、出願資格認定のための審査を受けなければなりません。

該当者は、入試広報部へお問い合わせください。

## 2 出願書類

1	入学志願票	入学検定料納入後、Web 出願システムからダウンロードした志願票と写真票に上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影、縦4cm×横3cmの写真（同じもの。カラー、白黒いずれでもよい）を貼付すること
2	卒業証明書又は卒業見込証明書	出願資格にかかわるもの
3	成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
4	卒業論文・卒業演奏・卒業制作等の要旨又はこれに相当するもの	Web 出願システムからダウンロードした所定の様式に従って作成すること ※要旨等を記入できない場合はその理由を記入すること
5	研究計画書	Web 出願システムからダウンロードした所定の様式に従い、志望の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの
6	長期履修申請書	Web 出願システムからダウンロードした所定の用紙（該当する志願者のみ）
7	長期履修計画書	Web 出願システムからダウンロードした所定の用紙（該当する志願者のみ）

## 3 試験科目

### (1) 文学研究科

試験	専攻	課程	試験科目 時 間	科 目 名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士前期課程	外国語 9:00～10:00	日本語、英語から1か国語を出願時に選択（ 自国語は選択できません。） ※辞書持ち込み可	100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 日本文学、日本語学の2領域とも必答 問題B 古代中世文学、近世近代文学、日本語学 の3研究分野から、志望する1分野の 問題を出願時に選択	200点
	英語英米文学専攻	博士前期課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み不可	100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 英米文学、英語学言語学、国際コミュニ ケーション、実践翻訳から2科目を選択 問題B 英米文学、英語学言語学、国際コミュニ ケーション、実践翻訳の4研究分野から、 志望する1分野の問題を出願時に選択 ※辞書持ち込み不可	200点
	社会文化学専攻	修士課程	外国語 9:00～10:00	英語、フランス語、中国語から1か国語を出願 時に選択 ※辞書持ち込み可	100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 社会学、人文地理学、日本史、アジア史、 ヨーロッパ史、考古学のうちから2科目 を選択 ※問題Aでは、各科目の基礎的な知識を問う 問題B 社会学、人文地理学、日本史、アジア史、 ヨーロッパ史、考古学のうちから1科目 を出願時に選択（社会学志望者は社会学、 人文地理学志望者は人文地理学、日本社 会史志望者は日本史、アジア社会史志望 者はアジア史、ヨーロッパ社会史志望 者はヨーロッパ史、考古学志望者は考古学 を選択すること） ※問題Bでは、各科目の専門的な内容を問う	200点
面接試験	13:00～				

《注意》辞書持ち込み可の科目であっても、電子辞書の持ち込みは不可とします。

## (2) 人間生活学研究科

試験	専攻・コース	課程	試験科目 時間	科目名	配点	
筆記試験	人間発達学専攻 人間発達学コース	修士課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み可	100点	
			専門科目 10:40～12:10	発達基礎論, 発達支援論の2研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	100点	
	人間発達学専攻 臨床心理学コース	修士課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み可	100点	
			専門科目 10:40～12:10	問題A 臨床心理学(必答) 問題B 発達心理学, 心理学研究法, 障害児心理学のうち1科目を選択	100点	
	食品栄養学専攻	修士課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み可	100点	
			専門科目 10:40～12:10	生理学, 公衆衛生学, 調理学, 栄養学, 食品学, 栄養教育論, 食品衛生学, 臨床医学のうち2科目を選択	200点	
	人間生活学専攻	修士課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み可	100点	
			専門科目 10:40～12:10	人間社会論, 生活文化論, 生活経営論, 生活環境論の4研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	200点	
	面接試験	13:00～				

《注意》辞書持ち込み可の科目であっても、電子辞書の持ち込みは不可とします。



# 社会人特別選抜

## 1 出願資格

次の資格を備えた女子

「一般選抜」における出願資格の(1)～(7)又は(9)のいずれかに該当し、かつ、入学時に25歳以上である者

## 2 出願書類

1	入学志願票	入学検定料納入後、Web出願システムからダウンロードした志願票と写真票に上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影、縦4cm×横3cmの写真（同じもの。カラー、白黒いずれでもよい）を貼付すること
2	卒業証明書又は卒業見込証明書	出願資格にかかわるもの
3	成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
4	卒業論文・卒業演奏・卒業制作等の要旨又はこれに相当するもの	Web出願システムからダウンロードした所定の様式に従って作成すること ※要旨等を記入できない場合はその理由を記入すること
5	研究計画書	Web出願システムからダウンロードした所定の様式に従い、志願の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの
6	長期履修申請書	Web出願システムからダウンロードした所定の用紙（該当する志願者のみ）
7	長期履修計画書	Web出願システムからダウンロードした所定の用紙（該当する志願者のみ）

《備考》

- 現職教員にあっては、筆記試験のうち専門科目試験の一部又は全部を研究業績（公刊物）の審査によって代替することができます。

なお、食品栄養学専攻を受験する者のうち、現職教員、栄養士又は栄養士関連業務に就いている者にあっては、筆記試験（小論文、専門科目）の一部又は全部を研究業績（公刊物）の審査によって代替することができます。

審査を希望する者は、秋季試験は、2023年7月14日（金）、春季試験は、2023年12月15日（金）までに入試広報部へお問い合わせのうえ、審査を受けてください。

- 現職教員等で、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の適用を受けようとする者は、入試広報部へお問い合わせください。

※ 大学院設置基準第14条では、教育方法の特例として①「夜間」、②「特定の時間」、③「特定の時期」に教育を行うことができると規定しています。本大学院では、①「夜間」及び③「特定の時期」には教育を行っていませんが、②「特定の時間」について適用する場合があります。この「特定の時間」の適用の内容は、次のとおりとなっています。

- ・ その内容は、学生が課程修了の要件として必要な科目を履修する際に、教員が授業又は研究指導の時間を学生の都合に合わせて調整するものです。
- ・ なお、人間発達学専攻臨床心理学コース及び食品栄養学専攻の1年次は、フルタイムの修学とし、有職者は1年間の研修命令又は休職等の措置を講ずるよう義務付けています。ただし、長期履修制度を利用する場合にはこれは適用されません。
- ・ 人間発達学専攻臨床心理学コースでは、長期履修制度を利用する場合でも、大学院設置基準第14条の教育方法の特例としての「特定の時間」は適用していません。

### 3 試験科目

#### (1) 文学研究科

試験	専攻	課程	試験科目 時間	科目名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士前期課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 日本文学, 日本語学の2領域とも必答 問題B 古代中世文学, 近世近代文学, 日本語学の3研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	200点
	英語英米文学専攻	博士前期課程	小論文 9:00～10:00	志望する専門分野に関する記述(英語)	100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 英米文学, 英語学言語学, 国際コミュニケーション, 実践翻訳から2科目を選択 問題B 英米文学, 英語学言語学, 国際コミュニケーション, 実践翻訳の4研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択 ※辞書持ち込み不可	200点
	社会文化学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 社会学, 人文地理学, 日本史, アジア史, ヨーロッパ史, 考古学のうちから2科目を選択 ※問題Aでは, 各科目の基礎的な知識を問う 問題B 社会学, 人文地理学, 日本史, アジア史, ヨーロッパ史, 考古学のうちから1科目を出願時に選択(社会学志望者は社会学, 人文地理学志望者は人文地理学, 日本社会史志望者は日本史, アジア社会史志望者はアジア史, ヨーロッパ社会史志望者はヨーロッパ史, 考古学志望者は考古学を選択すること) ※問題Bでは, 各科目の専門的な内容を問う	200点
面接試験	13:00～				

#### (2) 人間生活学研究科

試験	専攻・コース	課程	試験科目 時間	科目名	配点
筆記試験	人間発達学専攻 人間発達学コース	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	発達基礎論, 発達支援論の2研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	100点
	人間発達学専攻 臨床心理学コース	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	問題A 臨床心理学(必答) 問題B 発達心理学, 心理学研究法, 障害児心理学のうち1科目を選択	100点
	食品栄養学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	生理学, 公衆衛生学, 調理学, 栄養学, 食品学, 栄養教育論, 食品衛生学, 臨床医学のうち2科目を選択	200点
	人間生活学専攻	修士課程	小論文 9:00～10:00		100点
			専門科目 10:40～12:10	人間社会論, 生活文化論, 生活経営論, 生活環境論の4研究分野から, 志望する1分野の問題を出願時に選択	200点
面接試験	13:00～				

## 外国人留学生特別選抜

外国人留学生については、特別選抜も行っています（秋季のみ）。  
希望者は、本学入試広報部にお問い合わせください。

## 各選抜共通事項

### 1 研究テーマ・内容等に関する事前相談

博士前期課程・修士課程志願者は、研究テーマ・内容等について、出願前に本学大学院担当教員に事前相談することができます。

事前相談を希望する場合は、入試広報部宛に、メール（apoffice@post.ndsu.ac.jp）でお問い合わせください。

### 2 出願登録期間

〈秋季〉2023年7月24日(月)～8月3日(木)

〈春季〉2024年1月15日(月)～1月25日(木)

### 3 入学検定料 (p.50「Web 出願 入学検定料の支払い」参照)

入学検定料 30,000 円の支払いは、クレジットカード又はコンビニ決済に限ります（別途手数料 900 円が必要です）。

入学検定料納入期限：出願登録 2 日後の 23:59 まで

※ 出願登録期間最終日の納入最終時間は当日の 23:59 まで

○ いったん提出された出願書類及び入学検定料は、原則として返却しませんが、①～④の場合に限り入学検定料を返還します。返還を希望する方は入試広報部までご連絡ください。

① 入学検定料を納入済みだが、出願書類を提出しなかった場合

② 入学検定料を納入済みで出願書類を提出したが、大学院が受理しなかった場合

③ 同一選抜へ入学検定料を二重で納入した場合（うち 1 回分のみが返還対象）

④ 学校保健安全法において出席停止が定められている感染症への罹患等により、本学で実施する試験を欠席した場合

### 4 出願書類郵送期限 (p.45「Web 出願 日程の確認」参照)

〈秋季〉2023年8月3日(木) 必着

〈春季〉2024年1月25日(木) 必着

※ 出願書類を本学に持込む場合は、〈秋季〉8月4日(金) 16:30、〈春季〉1月26日(金) 17:00 まで。

### 5 出願方法 (p.51「Web 出願 出願書類の郵送」参照)

(1) 出願書類を取り揃え、ノートルダム清心女子大学入試広報部宛に郵送（簡易書留速達）又は持参してください。

(2) 出願書類を持参する場合の受付時間は、〈秋季〉8:30～16:30、〈春季〉8:30～17:00 です。

（土曜、日曜、祝日、本学休業日を除く。秋季は土曜日でも 12:30 まで受け付けています。）

《受付》ノートルダム清心女子大学 入試広報部

〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町 2-16-9

TEL 086-255-5585 (直通)

(3) 入学検定料納入後の出願情報（志望研究科・専攻（コース）、課程及び選択受験科目等）の変更は原則認めません。

(4) 障害のある入学志願者との事前相談

障害がある方には、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願開始日の 1 週間前までに、本学入試広報部に申し出てください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できる限り早い時期にご相談ください。

(5) 出願後の受験上の配慮

出願後に不慮の事故等（交通事故、発病等）のため受験上の配慮を希望する者は、速やかに本学入試広報部にお問い合わせください。

なお、申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、ご了承ください。

## 6 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 筆記試験（各専攻別）
- (3) 面接試験

## 7 試験日

- 〈秋季〉2023年9月14日(木)  
〈春季〉2024年3月1日(金)

## 8 試験場

ノートルダム清心女子大学（裏表紙 大学案内図参照）

## 9 試験当日の注意事項

- (1) 自家用車の乗り入れを禁止します。
- (2) 試験当日は、正門から建物に入ってください。
- (3) 受付（正面玄関、8:30～8:40）で出席確認後、8:45までには試験室へ入室してください。
- (4) 注意事項
  - ①試験時間中、机の上に置けるものは、次のものだけです。
    - ・黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは使用できません。）、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ
    - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）
    - ・時計（辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）
    - ・眼鏡、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）
    - ・辞書（持ち込みが認められている試験のみ）
  - ②試験時間中、「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「ICレコーダー」「腕時計型端末」等の電子機器類は使用できません。
  - ③携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は、試験室に入る前に電源を切り、身に付けないで、その他の所持品とともに、カバンなどにまとめて座席の下に置いてください。
  - ④試験当日は、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
  - ⑤ひざ掛けの使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得てから使用してください。なお、英文字や地図等がプリントされているものは使用できません。
  - ⑥試験期間中に配付した問題冊子等は、全て回収しますので、持ち帰ることはできません。
  - ⑦遅刻した場合、試験開始後20分まで受験を認めますので、誘導係員に申し出てください。
  - ⑧試験（筆記・面接）時間中は監督者（面接官）の指示に従ってください。従わない場合は、不正行為となる場合があります。
  - ⑨当日受験票を忘れた者は、誘導係員に申し出て指示を受けてください。
  - ⑩試験当日は、大学では昼食等の販売は行っていません。

## 10 判定通知

〈秋季〉2023年9月21日(木)

〈春季〉2024年3月7日(木)

判定結果は、受験者本人宛に郵送します。(合格者には、入学書類も同封します。)

- 〈秋季〉2023年9月23日(土)までに判定通知が届かない場合は、2023年9月25日(月)の8:30～16:30の間に入試広報部(TEL 086-255-5585)にお問い合わせください。  
〈春季〉2024年3月9日(土)までに判定通知が届かない場合は、2024年3月11日(月)の8:30～17:00の間に入試広報部(TEL 086-255-5585)にお問い合わせください。
- 判定結果についての電話でのお問い合わせ等には一切応じていません。本学発信以外の応答には責任を負いません。

## 11 入学手続

合格者は、次の手続期間内に必要書類及び入学手続金を取り揃え手続を済ませてください。

それぞれの期日までに手続を終了しない場合は、入学の意思がないものとみなします。

### (1) 入学手続期間

〈秋季〉

区 分	手 続 期 間
第1次手続	2023年9月22日(金)～10月6日(金)
第2次手続	2023年9月22日(金)～2024年3月15日(金)

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

〈春季〉

区 分	手 続 期 間
一括手続	2024年3月8日(金)～3月15日(金)

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

### (2) 入学手続金

区 分	入 学 手 続 金 項 目	金 額	備 考
第1次手続	入 学 金	300,000円	本学の卒業生は、150,000円
第2次手続	授 業 料 (第1期分)	280,000円	
	施設・設備費 (1年次分)	20,000円	

### (3) 入学書類

区 分	手 続 書 類	備 考
第1次手続	提出書類はありません	
第2次手続 又は一括手続	所 属 長 の 同 意 書	学校、会社等に在職中で入学後も在職する者のみ提出(書式自由)

- 一括手続の入学手続金は、前記第1次手続と第2次手続の合計です。
- 入学手続金については、判定通知に同封する入学手続要項に従って納入してください。
- 第1次手続完了者には本学から通知書類を郵送します。
- 前記手続(入学手続金の納入)が完了した場合は、入学許可書を本人宛に郵送します。領収書は大切に保管してください。
- 所属長の同意書は、第2次手続又は一括手続締切日から1週間以内に、提出してください。

(5) 入学辞退者への納付金返還に係る対応について

2024年度大学院入学者選抜（一般選抜・社会人特別選抜）による第2次手続もしくは一括手続完了後の入学辞退者には、次のように対応します。

①納入された学費等は返還しません。ただし、次の期間に本学が定める手続により入学を辞退した場合に限り、入学金を除く学費等（授業料、施設・設備費）は、それに相当する額を返還します。

1) 郵送の場合は、追跡可能かつ対面で受け渡されるもので2024年3月31日(日)消印有効。

2) 本学入試広報部に持参の場合は、2024年3月29日(金)17:00まで。

②2024年4月1日(月)以降に辞退した場合には、学費等納入金は返還しません。

③納付金返還を希望する者は、「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」に必要事項を記入し、第2次手続もしくは一括手続完了者に送付される「入学許可書」を添え、入試広報部へ提出してください。

○ 返還手続に必要な入学手続要項及び手続書類（「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」等）は、合格者に判定通知とともに送付します。

○ 必要な手続を完了した場合は、4月末日頃に銀行振込により所定の納付金を返還します。

○ 返還の対象となるのは、第2次手続もしくは一括手続完了者のみです。第1次手続のみ完了している場合は、返還の対象とはなりません。

## 12 学費等納入金

(1) 学費等

次の金額を4月と10月に分納します。

納入金	文学研究科	人間生活学研究科
授業料(年額)	560,000円	560,000円
施設・設備費(年額)	20,000円	20,000円
衛生冷暖房費(年額)	30,000円	30,000円
教育充実費(年額)	50,000円	30,000円
実験実習演習費(年額)	—	100,000円
合計	660,000円	740,000円

(2) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

教育研究活動中及び通学途上に被った不慮の災害に対する救済措置として、また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る損害賠償を補償する措置として、学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険に加入することになっています。保険料は、入学時(4月)に徴収します。

研究科	文学研究科・ 人間生活学研究科共通
学生教育研究災害傷害保険	1,400円
学研災付帯賠償責任保険	680円
合計	2,080円

※ 保険料は2年間分で、表は2023年度実績です。

## 13 学位の授与

修士課程又は博士前期課程を修了した者に対しては、次の学位が授与されます。

研究科	修士の学位及び専攻分野の名称
文学研究科	修士(文学)
人間生活学研究科	修士(学術)

## 14 取得免許・資格

本大学院（博士前期課程・修士課程）において取得できる教育職員免許状・資格の種類は次のとおりです。

研 究 科	専 攻・ コ ー ス	免 許 状・ 資 格 の 種 類	免 許 教 科
文 学 研 究 科	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	国 語
		高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	国 語
	英 語 英 米 文 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	外 国 語（英 語）
		高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	外 国 語（英 語）
	社 会 文 化 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	地 理 歴 史， 公 民
人 間 生 活 学 研 究 科	人 間 発 達 学 専 攻 人 間 発 達 学 コ ー ス	小 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	
		幼 稚 園 教 諭 専 修 免 許 状	
	人 間 発 達 学 専 攻 臨 床 心 理 学 コ ー ス	臨 床 心 理 士 受 験 資 格	
		公 認 心 理 師 受 験 資 格	
	食 品 栄 養 学 専 攻	栄 養 教 諭 専 修 免 許 状	
	人 間 生 活 学 専 攻	中 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	家 庭
		高 等 学 校 教 諭 専 修 免 許 状	家 庭

## 15 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、2年間の標準修業年限を超えて、3年間ないし4年間で計画的に教育課程の修学を認めるものです。適用を認められた場合、納入する学費等の総額は2年間分をよく、2年間分の学費等を、認められた履修年数で除した額を毎年納入することになります。

### (1) 申請資格

長期履修の申請ができるのは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限ります。

※職業を有している等とは、有職者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）及び、出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、標準修業年限で修了することが困難な事情にあることをいいます。

### (2) 申請手続時期及び期間

入学前（出願期間）又は入学後1年未満とします。入学後の申請手続期間はその年度の1月下旬とします。

### (3) 認める期間

長期履修を認める期間は3年間ないし4年とします。すでに在学した期間を含めて、全体で4年を超えることはできません。

### (4) 授業の履修計画

授業の履修及び単位の修得については、専攻主任ないし研究指導担当予定教員の指導を受け、計画的な授業履修及び単位修得となるよう努めてください。

### (5) 申請から審査結果通知まで

- ・ 志願票の長期履修希望欄に記入の上、長期履修申請書と長期履修計画書（Web出願システム「はじめに」からPDFをダウンロード）を、その他の出願書類とともに提出してください。
- ・ 試験日当日の面接試問終了後等に、修学の条件等について確認を受けてください。
- ・ 合格した場合、提出書類にもとづいて審査を行います。
- ・ 審査結果は判定結果とともに通知します。

### (6) 入学手続

長期履修制度の適用を認められた者は、通知する履修年数で除した金額の学費等を納入し、入学手続を行ってください。

# 博士後期課程 入学者選抜要項

## 募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員	
			秋季	春季
文学研究科	日本語日本文学専攻	博士後期課程	2	若干名
	英語英米文学専攻	博士後期課程	2	若干名
人間生活学研究科	人間複合科学専攻	博士後期課程	3	若干名

## 一般選抜

### 1 出願資格

次の資格を備えた女子

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は本大学院入学の前までに修士の学位若しくは専門職学位を授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は本大学院入学の前までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者又は本大学院入学の前までに修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2024年4月1日において24歳に達したもの
- (9) 日本国政府国費外国人留学生として推薦を受けた者

《注意》

「一般選抜」出願資格の(7)及び(8)については、次のとおりです。

- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳



に達したもの

☆ 次の基準のすべてを満たす者

- ① 大学を卒業後、各種の教育・研究機関等において研究又は指導に従事した期間が2年以上あること
- ② 著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績（学会誌に掲載された学術論文等）を有すること

前記出願資格の(7)(8)のいずれかによって出願しようとする者は、秋季試験は、2023年7月14日(金)、春季試験は、2023年12月15日(金)までに、出願資格認定のための審査を受けなければなりません。該当者は、入試広報部へお問い合わせください。

## 2 出願書類

1	入学志願票	入学検定料納入後、Web出願システムからダウンロードした志願票と写真票に上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影、縦4cm×横3cmの写真（同じもの。カラー、白黒いずれでもよい）を貼付すること	
2	博士前期課程・修士課程修了証明書又は博士前期課程・修士課程修了見込証明書	出願資格にかかわるもの	
3	成績証明書	出身大学院学長又は研究科長が作成したもの	
4	修士論文等	(1) 博士前期課程・修士課程修了者	修士論文（写）
		(2) 博士前期課程・修士課程修了見込の者	修士論文予定の論文（写）
		(3) 前記以外の者	修士論文に代わる既刊の研究論文及び研究業績一覧等、博士論文研究基礎力審査の合格に関する資料
5	研究計画書	Web出願システムからダウンロードした所定の様式に従い、志願の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの	
6	長期履修申請書	Web出願システムからダウンロードした所定の用紙（該当する志願者のみ）	
7	長期履修計画書	Web出願システムからダウンロードした所定の用紙（該当する志願者のみ）	

## 3 試験科目

試験	専攻	課程	試験科目間時	科目名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士後期課程	外国語 9:00～10:00	日本語、英語から1か国語を出願時に選択（自国語は選択できません。） ※辞書持ち込み可	100点
			専門科目 10:40～12:10	志願者各自の専門分野に関するもの	200点
	英語英米文学専攻	博士後期課程	専門科目A 9:00～10:00	志願者各自の専門分野に関する概論的知識を問う問題を出題する（英語又は日本語で出題） ※辞書持ち込み不可	100点
			専門科目B 10:40～12:10	志願者の研究テーマに即した英語の文献を読み、論述する問題を出題する（英語又は日本語で出題） ※辞書持ち込み不可	200点
	人間複合科学専攻	博士後期課程	外国語 9:00～10:00	英語 ※辞書持ち込み可	100点
			専門科目 10:40～12:10	次の研究領域に関連した3科目のうち1科目を出願時に選択 (1) 精神機能論領域 (2) 保健栄養論領域 (3) 生活文化論領域 ※研究計画との整合性に留意のこと	200点
面接試験	13:00～			※人間複合科学専攻は、修士論文又はこれに代わる研究論文を中心に行います。	

《注意》

辞書持ち込み可の科目であっても、電子辞書の持ち込みは不可とします。

# 社会人特別選抜

## 1 出願資格

次の資格を備えた女子

「一般選抜」における出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当し、かつ、入学時に27歳以上である者

## 2 出願書類

1	入学志願票	入学検定料納入後、Web出願システムからダウンロードした志願票と写真票に上半身、正面、背景なし、3か月以内撮影、縦4cm×横3cmの写真(同じもの。カラー、白黒いずれでもよい)を貼付すること	
2	博士前期課程・修士課程修了証明書又は博士前期課程・修士課程修了見込証明書	出願資格にかかわるもの	
3	成績証明書	出身大学院学長又は研究科長が作成したもの	
4	修士論文等	(1) 博士前期課程・修士課程修了者	修士論文(写)
		(2) 博士前期課程・修士課程修了見込の者	修士論文予定の論文(写)
		(3) 前記以外の者	修士論文に代わる既刊の研究論文及び研究業績一覧等、博士論文研究基礎力審査の合格に関する資料
5	研究計画書	Web出願システムからダウンロードした所定の様式に従い、志願の動機、目的及び入学後の研究計画を記入したもの	
6	長期履修申請書	Web出願システムからダウンロードした所定の用紙(該当する志願者のみ)	
7	長期履修計画書	Web出願システムからダウンロードした所定の用紙(該当する志願者のみ)	

《備考》

社会人で、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の適用を受けようとする者は、入試広報部へお問い合わせください。

※ 大学院設置基準第14条では、教育方法の特例として①「夜間」、②「特定の時間」、③「特定の時期」に教育を行うことができると規定しています。本大学院では、①「夜間」及び③「特定の時期」には教育を行っていませんが、②「特定の時間」について適用する場合があります。この「特定の時間」の適用の内容は、次のとおりとなっています。

○ 「特定の時間」を適用する場合は、博士後期課程の1～3年次を実施します。

○ その内容は、学生が課程修了の要件として必要な科目を履修する際に、教員が授業又は研究指導の時間を学生の都合に合わせて調整するものです。

## 3 試験科目

試験	専攻	課程	試験科目 時間	科目名	配点
筆記試験	日本語日本文学専攻	博士後期課程	専門科目 10:40～12:10	志願者各自の専門分野に関するもの	100点
	英語英米文学専攻	博士後期課程	専門科目 10:40～12:10	志願者の研究テーマに即した英語の文献を読み、論述する問題を出题する(英語又は日本語で出题) ※辞書持ち込み不可	200点
	人間複合科学専攻	博士後期課程	専門科目 10:40～12:10	次の研究領域に関連した3科目のうち1科目を出願時に選択 (1) 精神機能論領域 (2) 保健栄養論領域 (3) 生活文化論領域 ※研究計画との整合性に留意のこと	200点
面接試験	13:00～			※人間複合科学専攻は、修士論文又はこれに代わる研究論文を中心に行います。	

## 外国人留学生特別選抜

外国人留学生については、特別選抜も行っています（秋季のみ）。  
希望者は、本学入試広報部にお問い合わせください。

## 各選抜共通事項

### 1 入学前の指導

博士後期課程志願者は、秋季試験は、2023年7月14日（金）、春季試験は、2023年12月15日（金）までに、面談により志望する専攻の専攻主任及び各研究分野・研究領域の担当教員の指導を受けなければなりません。

各研究分野の概要及び担当教員については p.1～24 を参照してください。

なお、入学前の指導を受ける場合は、入試広報部宛に、メール（apoffice@post.ndsu.ac.jp）でお問い合わせください。

### 2 出願登録期間

〈秋季〉2023年7月24日（月）～8月3日（木）

〈春季〉2024年1月15日（月）～1月25日（木）

### 3 入学検定料（p.50「Web 出願 入学検定料の支払い」参照）

入学検定料 30,000 円の支払いは、クレジットカード又はコンビニ決済に限ります（別途手数料 900 円が必要です）。

入学検定料納入期限：出願登録 2 日後の 23:59 まで

※出願登録期間最終日の納入最終時間は当日の 23:59 まで

○ いったん提出された出願書類及び入学検定料は、原則として返却しませんが、①～④の場合に限り入学検定料を返還します。返還を希望する場合は入試広報部までご連絡ください。

①入学検定料を納入済みだが、出願書類を提出しなかった場合

②入学検定料を納入済みで出願書類を提出したが、大学院が受理しなかった場合

③同一選抜へ入学検定料を二重で納入した場合（うち 1 回分のみが返還対象）

④学校保健安全法において出席停止が定められている感染症への罹患等により、本学で実施する試験を欠席した場合

### 4 出願書類郵送期限（p.45「Web 出願 日程の確認」参照）

〈秋季〉2023年8月3日（木）必着

〈春季〉2024年1月25日（木）必着

※出願書類を本学に持込む場合は、〈秋季〉8月4日（金）16:30、〈春季〉1月26日（金）17:00 まで。

### 5 出願方法（p.51「Web 出願 出願書類の郵送」参照）

(1) 出願書類を取り揃え、ノートルダム清心女子大学入試広報部宛に郵送（簡易書留速達）又は持参してください。

(2) 出願書類を持参する場合の受付時間は、〈秋季〉8:30～16:30、〈春季〉8:30～17:00 です。

（土曜、日曜、祝日、本学休業日を除く。秋季は土曜日でも 12:30 まで受け付けています。）

《受付》ノートルダム清心女子大学 入試広報部

〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町 2-16-9

TEL 086-255-5585（直通）

(3) 入学検定料納入後の出願情報（志望研究科・専攻（コース）、課程及び選択受験科目等）の変更は原則認めません。

(4) 障害のある入学志願者との事前相談

障害がある方には、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願開始日の 1 週間前までに、本学入試広報部にお申し出ください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できる限り早い時期にご相談ください。

(5) 出願後の受験上の配慮

出願後に不慮の事故等（交通事故、発病等）のため受験上の配慮を希望する者は、速やかに本学入試広報部にお

問い合わせください。

なお、申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、ご了承ください。

## 6 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 筆記試験（各専攻別）
- (3) 面接試験

## 7 試験日

- 〈秋季〉2023年9月14日(木)  
〈春季〉2024年3月1日(金)

## 8 試験場

ノートルダム清心女子大学（裏表紙 大学案内図参照）

## 9 試験当日の注意事項

- (1) 自家用車の乗り入れを禁止します。
- (2) 試験当日は、正門から建物に入ってください。
- (3) 9:00からの受験者は8:30から8:40までに、10:40からの受験者は10:10から10:20までに、受付（正面玄関）で出席確認後、試験開始15分前までには試験室へ入室してください。
- (4) 注意事項
  - ①試験時間中、机の上に置けるものは、次のものだけです。
    - ・黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは使用できません。）、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ
    - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）
    - ・時計（辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）
    - ・眼鏡、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）
    - ・辞書（持ち込みが認められている試験のみ）
  - ②試験時間中、「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「ICレコーダー」「腕時計型端末」等の電子機器類は使用できません。
  - ③携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は、試験室に入る前に電源を切り、身に付けずに、その他の所持品とともに、カバンなどにまとめて座席の下に置いてください。
  - ④試験当日は、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
  - ⑤ひざ掛けの使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得てから使用してください。なお、英文字や地図等がプリントされているものは使用できません。
  - ⑥試験時間中に配付した問題冊子等は、全て回収しますので、持ち帰ることはできません。
  - ⑦遅刻した場合、試験開始後20分まで受験を認めますので、誘導係員に申し出てください。
  - ⑧試験（筆記・面接）時間中は監督者（面接官）の指示に従ってください。従わない場合は、不正行為となる場合があります。
  - ⑨当日受験票を忘れた者は、誘導係員に申し出て指示を受けてください。
  - ⑩試験当日は、大学では昼食等の販売は行っていません。

## 10 判定通知

〈秋季〉2023年9月21日(木)

〈春季〉2024年3月7日(木)

判定結果は、受験者本人宛に郵送します。(合格者には、入学手続書類も同封します。)

- 〈秋季〉2023年9月23日(土)までに判定通知が届かない場合は、2023年9月25日(月)の8:30～16:30の間に入試広報部(TEL 086-255-5585)にお問い合わせください。  
〈春季〉2024年3月9日(土)までに判定通知が届かない場合は、2024年3月11日(月)の8:30～17:00の間に入試広報部(TEL 086-255-5585)にお問い合わせください。
- 判定結果についての電話でのお問い合わせ等には一切応じていません。本学発信以外の応答には責任を負いません。

## 11 入学手続

合格者は、次の手続期間内に必要書類及び入学手続金を取り揃え手続を済ませてください。

それぞれの期日までに手続を終了しない場合は、入学の意思がないものとみなします。

### (1) 入学手続期間

〈秋季〉

区 分	手 続 期 間
第1次手続	2023年9月22日(金)～10月6日(金)
第2次手続	2023年9月22日(金)～2024年3月15日(金)

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

〈春季〉

区 分	手 続 期 間
一括手続	2024年3月8日(金)～3月15日(金)

[注] 海外からの入学手続は、期間内必着とします。

### (2) 入学手続金

区 分	入 学 手 続 金 項 目	金 額	備 考
第1次手続	入 学 金	150,000円	本大学院博士前期課程・修士課程からの進学者からは、入学金を徴収しません。
第2次手続	授 業 料 (第1期分)	280,000円	
	施設・設備費 (1年次分)	20,000円	

### (3) 入学手続書類

区 分	手 続 書 類	備 考
第1次手続	提出書類はありません。	
第2次手続 又は一括手続	所属長の同意書	学校、会社等に在職中で入学後も在籍する者のみ提出(書式自由)

- 一括手続の入学手続金は、前記第1次手続と第2次手続の合計です。
- 入学手続金については、判定通知に同封する入学手続要項に従って納入してください。
- 第1次手続完了者には本学から通知書類を郵送します。
- 前記手続(入学手続金の納入)が完了した場合は、入学許可書を本人宛に郵送します。領収書は大切に保管してください。
- 所属長の同意書は、第2次手続又は一括手続締切日から1週間以内に、提出してください。

(5) 入学辞退者への納付金返還に係る対応について

2024年度大学院入学者選抜（一般選抜・社会人特別選抜）による第2次手続もしくは一括手続完了後の入学辞退者には、次のように対応します。

①納入された学費等は返還しません。ただし、次の期間に本学が定める手続により入学を辞退した場合に限り、入学金を除く学費等（授業料、施設・設備費）は、それに相当する額を返還します。

1) 郵送の場合は、追跡可能かつ対面で受け渡されるもので2024年3月31日(日)消印有効。

2) 本学入試広報部に持参の場合は、2024年3月29日(金)17:00まで。

②2024年4月1日(月)以降に辞退した場合には、学費等納入金は返還しません。

③納付金返還を希望する者は、「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」に必要事項を記入し、第2次手続もしくは一括手続完了者に送付される「入学許可書」を添え、入試広報部へ提出してください。

○ 返還手続に必要な入学手続要項及び手続書類（「入学辞退届・学費等返還金振込先金融機関届」等）は、合格者に判定通知とともに送付します。

○ 必要な手続を完了した場合は、4月末日頃に銀行振込により所定の納付金を返還します。

○ 返還の対象となるのは、第2次手続もしくは一括手続完了者のみです。第1次手続のみ完了している場合は、返還の対象とはなりません。

## 12 学費等納入金

(1) 学費等

次の金額を4月と10月に分納します。

納 入 金	文 学 研 究 科	人 間 生 活 学 研 究 科
授 業 料 (年 額)	560,000 円	560,000 円
施 設 ・ 設 備 費 (年 額)	20,000 円	20,000 円
衛 生 冷 暖 房 費 (年 額)	30,000 円	30,000 円
教 育 充 実 費 (年 額)	50,000 円	30,000 円
実 験 実 習 演 習 費 (年 額)	—	100,000 円
合 計	660,000 円	740,000 円

(2) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

教育研究活動中及び通学途上に被った不慮の災害に対する救済措置として、また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る損害賠償を補償する措置として、学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険に加入することになっています。保険料は、入学時（4月）に徴収します。

専 攻	文 学 研 究 科 ・ 人 間 生 活 学 研 究 科 共 通
保 険 種 別	
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険	2,100 円
学 研 災 付 帯 賠 償 責 任 保 険	1,020 円
合 計	3,120 円

※ 保険料は3年間分で、表は2023年度実績です。

## 13 学位の授与

博士課程を修了した者に対しては、次の学位が授与されます。

研 究 科	博 士 の 学 位 及 び 専 攻 分 野 の 名 称
文 学 研 究 科	博 士 (文 学)
人 間 生 活 学 研 究 科	博 士 (学 術)

## 14 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、3年間の標準修業年限を超えて、4年間～6年間で計画的に教育課程の修学を認めるものです。適用を認められた場合、納入する学費等の総額は3年間分でよく、3年間分の学費等を、認められた履修年数で除した額を毎年納入することになります。

### (1) 申請資格

長期履修の申請ができるのは、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限ります。

※職業を有している等とは、有職者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）及び、出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、標準修業年限で修了することが困難な事情にあることをいいます。

### (2) 申請手続時期および期間

入学前（出願期間）又は入学後2年未満とします。入学後の申請手続期間は毎年1月下旬とします。

### (3) 認める期間

長期履修を認める期間は4年～6年とします。すでに在学した期間を含めて、全体で6年を超えることはできません。

### (4) 授業の履修計画

授業の履修及び単位の修得については、研究指導担当予定教員等の指導を受け、計画的な授業履修及び単位修得となるよう努めてください。

### (5) 申請から審査結果通知まで

- ・志願票の長期履修希望欄に記入の上、長期履修申請書と長期履修計画書（Web出願システム「はじめに」内からPDFをダウンロード）を、その他の出願書類とともに提出してください。
- ・試験日当日の面接試問終了後等に、修学の条件等について確認を受けてください。
- ・合格した場合、提出書類にもとづいて審査を行います。
- ・審査結果は判定結果とともに通知します。

### (6) 入学手続

長期履修制度の適用を認められた者は、通知する履修年数で除した金額の学費等を納入し、入学手続を行ってください。

## 奨学金制度

奨学金		奨学金の内容	対象学年	奨学生数
本学独自の奨学金	優秀奨励奨学金	10万円を給付	大学院生	若干名 (個人・団体)
	大学院クビリー奨学金	授業料年額の2分の1を給付	大学院生	1学年15名程度
	災害支援奨学金	授業料及び諸納付金の全額又は2分の1を減免	大学院生	—
	緊急・応急奨学金	授業料及び諸納付金の全額又は2分の1を給付	大学院生	—
	通学応援奨学金	2万円を給付	2020年度以降 入学生	—
	アドバイザー推薦 通学応援奨学金	2万円を給付	2020年度以降 入学生	—
	大学院学生に対する 学会等発表奨励金	参加費・旅費として 国内：5万円上限 海外：20万円上限	大学院生	—
	海外活動支援奨学金	旅費及び宿泊費の範囲内 一人1回5万円を上限に給付	大学院生	—
	私費外国人留学生授業料減免	授業料年額の2分の1を減免	—	—
一般財団法人渡辺和子記念 ノートルダム育英財団奨学金	大学院生：月額4万円を給付	大学院1年生以上 (博士後期課程を除く)	大学院生5名程度	
大学院生向け 日本学生支援機構 奨学金第一種	修士・博士前期： 5万円・8.8万円から選択 博士後期： 8万円・12.2万円から選択	大学院生	日本学生支援機構 の決定による	
大学院生向け 日本学生支援機構 奨学金第二種	5万円・8万円・10万円・13万円・ 15万円から選択	大学院生	日本学生支援機構 の決定による	

\* 2023年4月1日現在のもので変更する場合があります。

- ・応募資格など、詳しくは奨学金パンフレットもしくはホームページで確認してください。
- ・秋季試験で本学大学院への入学が内定した者は、入学前に日本学生支援機構奨学金予約採用の申し込みが可能な場合があります。

詳細については、学務部にお問い合わせください。

学務部 TEL 086-252-5039 (直通)



# Web出願



## 事前の準備

p.45

- 1 日程の確認
- 2 必要な環境



## 出願登録

p.46

- 3 Web出願サイトにアクセス
- 4 Web出願サイトのアカウント作成
- 5 Web出願サイトへのログイン
- 6 Web出願サイトから出願登録
- 7 志願者情報の登録～確認
- 8 支払い方法の選択



## 入学検定料の支払い

p.50

- 9 支払い方法



## 出願書類の郵送

p.51

- 10 入学志願票・宛名シートの印刷
- 11 出願書類の準備
- 12 出願書類の封入・発送



## 受験票の印刷

p.51

- 13 受験票ダウンロードの通知メール
- 14 受験票ダウンロード・印刷
- 15 試験日当日

Q&A

## Web出願Q&A

p.52



## 事前の準備

### 1 日程の確認

出願手続きは、①出願登録 ②入学検定料の支払い ③出願書類の郵送 をすることによって完了します。

①・②・③のいずれかが行われなかった場合は出願が受け付けられません。

入学検定料支払期限を過ぎた場合は、登録した内容での入学検定料の支払いができません。この場合は再度

①出願登録 から出願手続きをやり直してください。

選抜区分	①出願登録期間	②入学検定料 支払期限	③出願書類 郵送期限※	試験日
秋季	一般選抜	出願登録2日後の 23:59まで ただし、 出願登録期間 最終日は 当日の23:59まで	①の期間内必着  ※8/4(金) 16:30まで持込可	9/14(木)
	学内推薦選抜			
	社会人特別選抜			
	外国人留学生特別選抜			
春季	一般選抜	2024年 1/15(月) ～ 1/25(木) 23:59まで	①の期間内必着  ※1/26(金) 17:00まで持込可	2024年 3/1(金)
	学内推薦選抜			
	社会人特別選抜			

※出願書類は郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください(ポスト投函不可)。

### 2 必要な環境



#### パソコン

##### [Windows]

MicrosoftEdge (最新バージョン)  
GoogleChrome (最新バージョン)  
Firefox (最新バージョン)

##### [MacOS]

Safari (最新バージョン)



#### スマートフォン・タブレット

##### [Android 11.0以上]

Android Chrome  
(最新バージョン)

##### [iOS 14.0以上]

Safari (最新バージョン)

※どのウェブブラウザでも最新版を利用し、JavaScript・Cookieを有効にしてください。

※セキュリティソフトの影響で正常に動作しない場合がありますので注意してください。

セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。



#### メールアドレス

出願登録完了時・入学検定料の支払い時に、登録したメールアドレスに確認メールが送信されます。必要な場合は大学のドメイン(nds.u.ac.jp)を受信許可指定してください。



#### プリンター

自宅にプリンターが無い場合は、PDFファイルを印刷できる環境を別途用意してください。



## 出願登録

### ③ Web出願サイトにアクセス

ノートルダム清心女子大学 受験生サイト



<https://www.ndsu.ac.jp/admission/>



トップページにある **Web出願について** のバナーからWeb出願サイトに移動

### ④ Web出願サイトのアカウント作成

ログイン画面の「**新規登録**」をクリック **推薦書等**



大学名をクリックすると、出願に必要な**各種様式**をダウンロードできます(**研究計画書・長期履修申請書等**)。

利用規約を確認し、同意する



メールアドレスを入力し、パスワード・ニックネームを設定し、「登録」をクリック

### アカウント作成

当サービスの利用にはアカウント作成が必要です。  
以下のメールアドレスを入力してください。

メールアドレスは、ログイン時およびログイン後の各操作に利用します。  
登録後、登録完了のメールが自動的に配信されますので、「@postnet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

ご利用いただけるパスワードには以下の条件があります。  
最小6文字最大50文字  
半角数字必須  
半角英小文字必須  
半角英大文字必須  
半角英数字以外の文字(記号)必須  
メールアドレスと同一でないこと  
例) Pass2021!! ※例のパスワードは使用しないでください。

メールアドレス

パスワード

パスワードを表示する

パスワード (確認)

パスワードを表示する

ニックネーム

登録

アカウント用  
メールアドレス

@

パスワード

登録した「メールアドレス」に【**仮登録メール**】が送信されます。

※**迷惑メールフォルダ**などに振り分けられる場合がありますので、**注意してください**。

メール本文に記載されているURLをクリック

### 仮登録メール送信完了

まだ登録は完了しておりません。  
メールを確認して登録を完了させて下さい。

アカウント作成が完了。以降は登録したメールアドレスとパスワードでログイン

### 登録完了

メールをご確認頂きありがとうございます。ユーザー登録が完了しました。

## 5 Web出願サイトへのログイン

Web出願サイトにアクセスし、登録したメールアドレスとパスワードを入力後、「ログイン」をクリック

メールアドレス宛に届いた「認証コード(数字6桁)」を入力  
※認証コードはログインごとに変更されます

迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

ログイン完了

「はじめに」 \*7月下旬公開  
初めて利用される方は、利用前に必ずお読みください。  
※出願に必要な各種様式をダウンロードできます(研究計画書・長期履修申請書等)

## 6 Web出願サイトから出願登録

Web出願サイトにアクセスし、「出願登録」をクリック

留意事項を確認・同意後「次へ」をクリック

出願する選抜区分を選択

専攻等を選択し、「次へ」をクリック

大学入学試験 一般選抜（修士課程）  
 試験科目、専攻専修（コース）、試験専修を選択してください

学部専攻（コース）	経済学専攻
専攻専修（コース）	経済学専攻
試験専修（コース）	経済学専攻
試験科目	経済学

戻る 次へ

※選択した専攻に間違いがないかよく確認してください。

出願内容に間違いがないかよく確認してください。間違いがなければ「次へ」をクリック

出願内容を確認してください

試験科目	試験科目	専攻専修	試験科目	試験科目
経済学専攻	経済学専攻	経済学専攻	経済学専攻	経済学専攻

出願内容を確認する 次へ

この画面以降、専攻や選択科目の変更はできません。修正が必要な場合は「出願内容を修正する」から内容を変更してください。

内容確定後に変更が必要な場合は既に登録した内容はそのままだ、再度出願登録から出願手順をやり直してください。

## 7 志願者情報の登録～確認

志願者情報の必須項目を全て入力

ノートルダム清心女子大学

志願者情報を入力してください

志願者情報

氏名（フリガナ） 田中 さくら  
 氏名（漢字） 田中 さくら  
 生年月日 2000年10月10日  
 連絡用メールアドレス sakura.tanaka@ndpc.ac.jp  
 連絡用メールアドレス（別添） sakura.tanaka@ndpc.ac.jp

志願者情報

受験番号 2020-01111  
 受験科目 経済学  
 専攻専修（コース） 経済学専攻  
 試験科目 経済学

連絡用

メールアドレス

@

【連絡用メールアドレス】に出願登録番号が記載された出願確認メールが送信されます。

※迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

※志願者情報を誤って入力したまま出願登録を完了すると、あとから修正をすることができません。十分に確認してください。

志願者情報を確認してください

志願者情報

氏名（フリガナ） 田中 さくら  
 氏名（漢字） 田中 さくら  
 生年月日 2000年10月10日  
 連絡用メールアドレス sakura.tanaka@ndpc.ac.jp

志願者情報

受験番号 2020-01111  
 受験科目 経済学  
 専攻専修（コース） 経済学専攻  
 試験科目 経済学  
 出願内容確認済 2020-01111

大学情報

大学名 ノートルダム清心女子大学  
 学部名 経済学  
 専攻名 経済学専攻  
 試験科目 経済学

中心情報

出願内容確認済  
 試験上の注意事項（1）最新試験科目表（2）





## 9 支払い方法

入学検定料支払いの前に、Web出願時に登録したメールアドレスに届く「出願確認メール」の内容を確認してください。出願内容に誤りがある場合には、すでに登録した出願内容を破棄し、最初から出願登録をやり直してください。 [\[Web出願Q&A・Q6\] > p.52](#) [入学検定料の返還 > p.30.38](#)

※入学検定料の他に別途、**手数料900円が必要**です(全選抜区分一律)。

※領収書は提出不要ですが、控えとして保管してください。

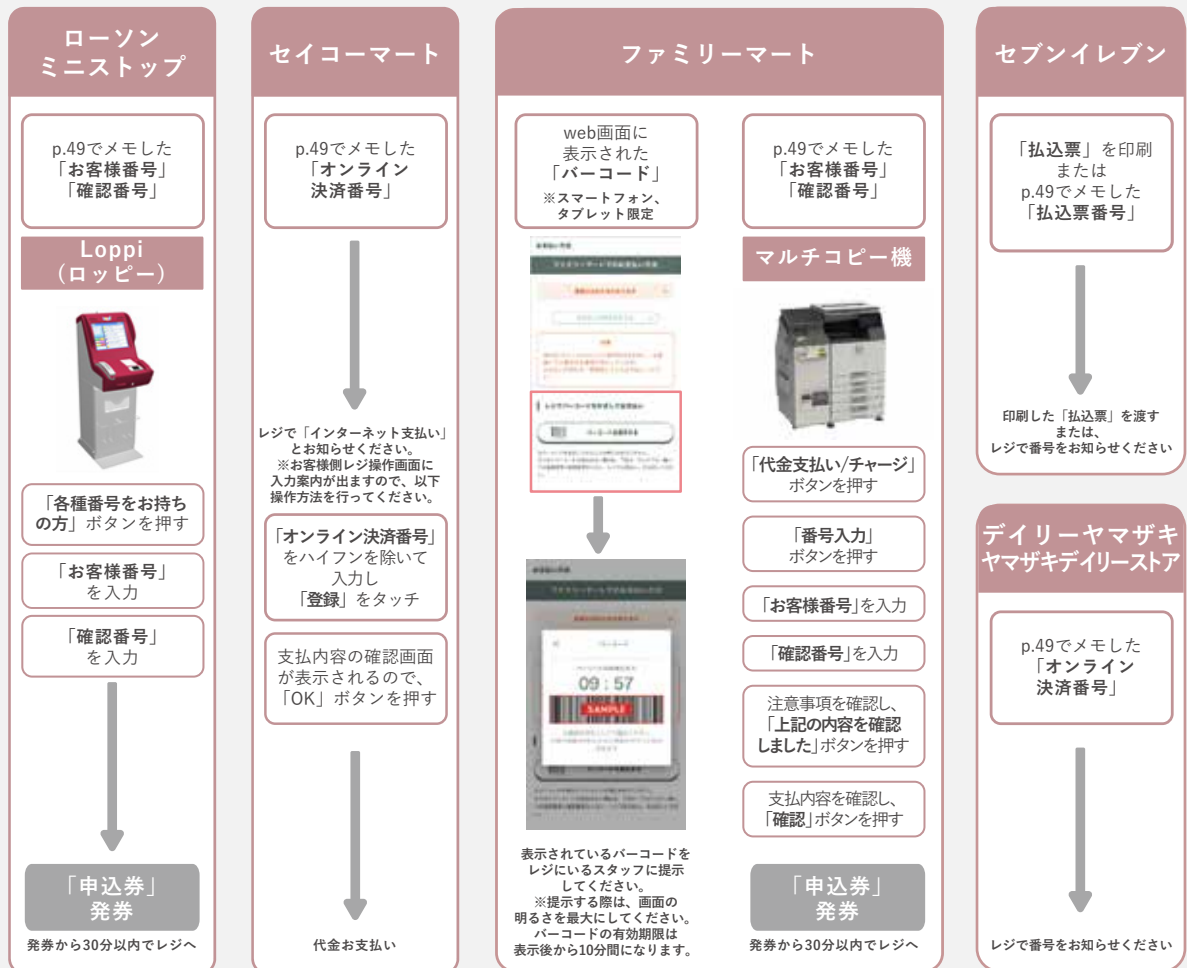


**出願登録2日後の23:59を過ぎた場合、登録した内容での入学検定料支払いができなくなります。**  
この場合は既に登録した内容のままに、再度出願登録から出願手続きをやり直してください。

要注意

※出願登録期間終了後の出願登録はできません。

### コンビニ払いの場合



### クレジットカード決済の場合

「支払い方法の選択」で選択したクレジットカードで決済してください。



## 出願書類の郵送

### 10 入学志願票・宛名シートの印刷

入学検定料の支払い完了後、Web出願サイト「**出願内容の確認**」から

- ・ 志願票
- ・ 封筒貼付用宛名シート

をA4サイズで印刷(白黒でも可)



志願票イメージ(一般選抜)



### 11 出願書類の準備

出願に必要なその他の書類を漏れなく準備する。

【出願書類】博士前期・修士課程 p.26,28  
博士後期課程 p.36,37

### 12 出願書類の封入・発送

市販の角2封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて必要書類を封入し、**郵便局窓口**から郵送[簡易書留・速達、ポスト投函不可]もしくは持込

※本学から出願書類受理の連絡はありません。郵送状況は簡易書留の追跡番号で確認してください。



出願書類は出願登録期間内必着。  
ただし、持参の場合は出願登録  
締切日翌日の  
〈秋期〉8:30~16:30  
〈春期〉8:30~17:00まで受付。



## 受験票の印刷

### 13 受験票ダウンロードの通知メール

**出願登録期間終了後3日程度\***で 受験票ダウンロードの案内メールをWeb出願時に登録された連絡用メールアドレス宛に送信します。

**\*入学検定料の支払い後ではありません。**  
出願登録期間終了後(大学休業日を除く)3日程度で全受験者宛に一斉にメール送信されます。

### 14 受験票ダウンロード・印刷

Web出願サイト「**出願内容の確認**」から受験票をダウンロードしてA4サイズ(縦・白黒可)で印刷してください。



受験票を印刷できない時などは、すぐに入試広報部(TEL 086-255-5585)まで連絡してください。



### 15 試験日当日

試験当日は必ず**印刷した受験票を持参**してください。



## Q1 氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます

A

氏名や住所などの個人情報を入力する際に、環境依存文字はエラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。

[例] 高→高 崎→崎 Ⅲ→3

## Q2 ポップアップがブロックされ画面が表示できません

A

ブラウザやセキュリティソフトの設定等でポップアップをブロックしている場合、Web出願のポップアップが表示されない場合があります。本学のWeb出願サイト(www.postanet.jp)のポップアップを常に許可するよう設定してください。

## Q3 出願内容を確認したい

A

Web出願サイトにログインし、「**出願内容の確認**」から出願内容を確認できます。また、入学志願票や受験票等のダウンロードができます。

## Q4 コンビニでの支払いに必要な番号を忘れました

A

Web出願サイトにログインし「**出願内容の確認**」から支払い番号の確認画面を再表示できます。

なお、支払期限を過ぎると登録した内容での入学検定料の支払いができなくなりますので注意してください。

## Q5 出願登録後に出願内容を変更することはできますか

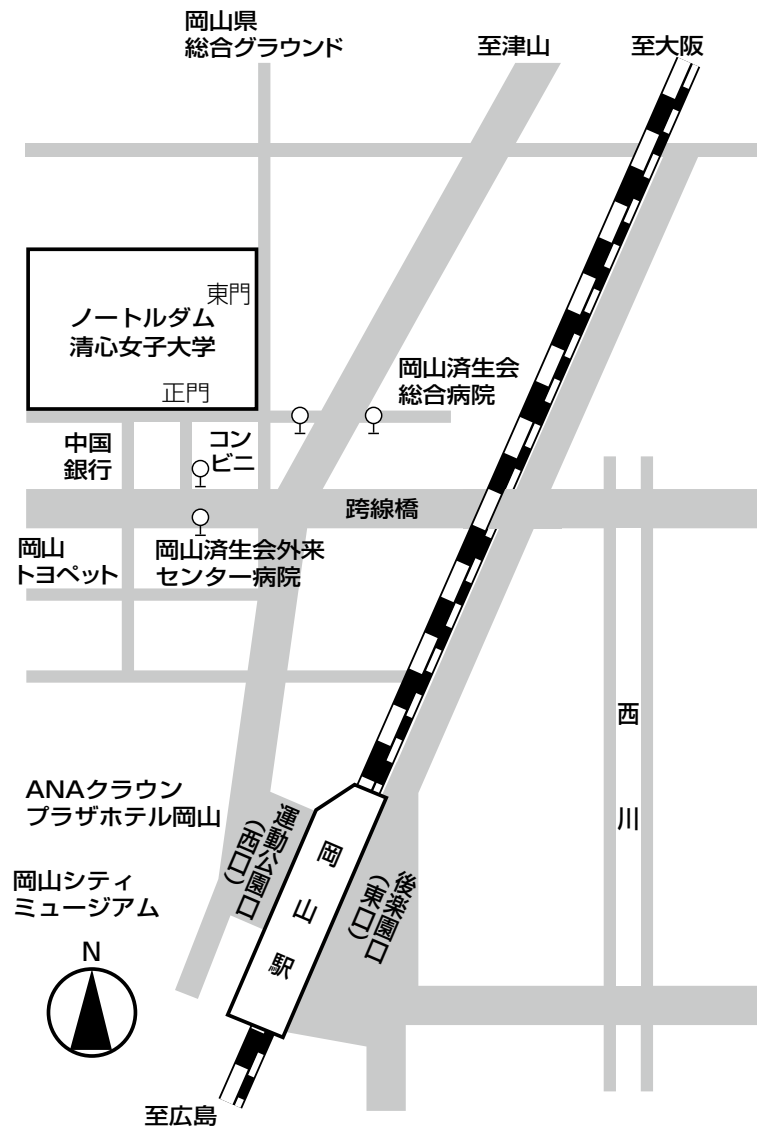
A

入学検定料支払い後の出願情報(選抜区分、専攻、選択科目等)の変更は原則認めません。なお、**入学検定料を支払う前であれば、もう一度最初から新たに**出願登録を行い、入学検定料を支払ってください。

※入学検定料支払い後に**出願情報の住所・氏名・電話番号等に誤りや変更が生じた場合は、至急入試広報部(TEL 086-255-5585)まで連絡してください。**

入学検定料の返還 > p.30,38

# 大学案内図



- J R / 岡山駅運動公園口（西口）から徒歩約 10 分
- バス / 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで、「済生会病院前」下車

お問い合わせ先

ノートルダム清心女子大学 入試広報部

〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2-16-9

TEL 086-255-5585 (直通)  
FAX 086-255-4117  
E-mail apoffice@post.ndsu.ac.jp  
URL <https://www.ndsu.ac.jp/>